

令和3年度原子力発電施設広聴・広報等事業  
(ALPS処理水による風評影響調査関連事業)  
調査報告書

来年度調査計画案

公益財団法人流通経済研究所  
令和4年3月

- I 調査体制構築に向けた視点
- II 調査計画とその考え方
- III 事業者調査の実施要領
- IV 消費者調査の実施計画
- V 価格調査の実施計画
- VI 輸出動向調査の実施計画
- VII メディア・SNS調査の実施計画
- VIII 観光動向調査の実施計画

# I 調査体制構築に向けた視点

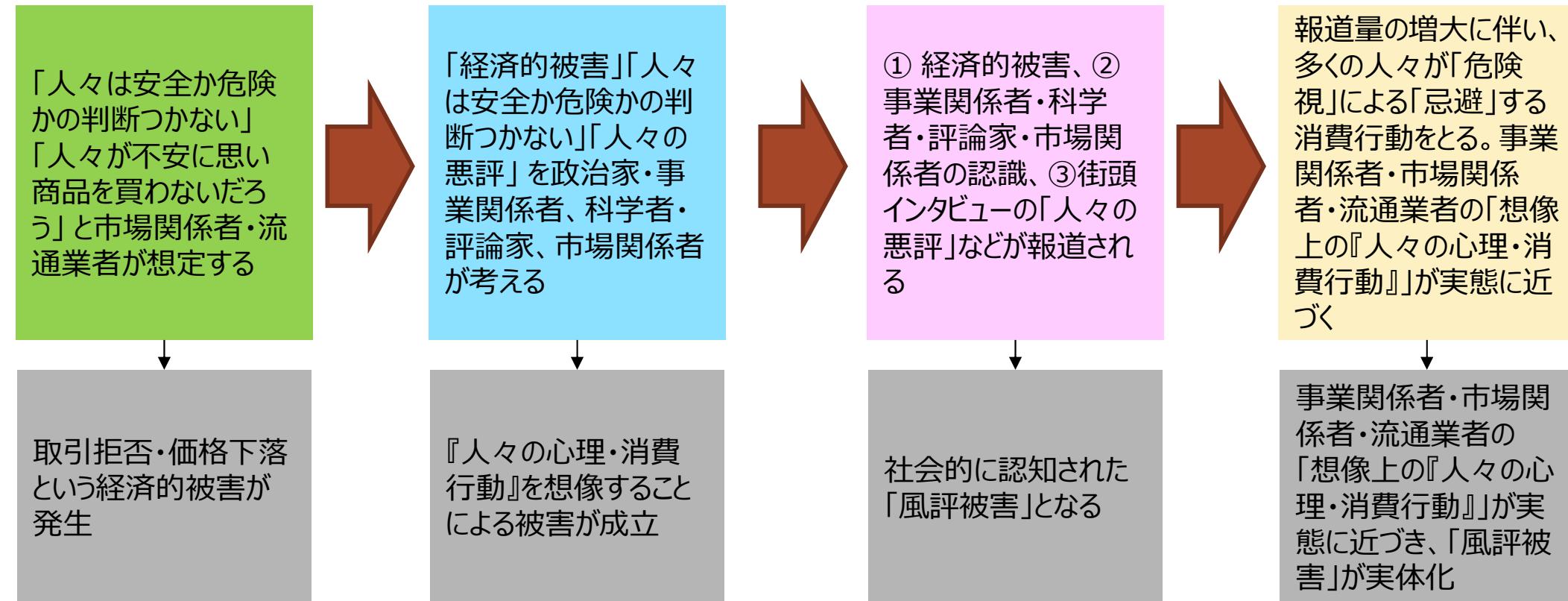
# 文献調査からの示唆：「風評被害」の発生メカニズムをふまえた対応

下記のプロセスで実体化する風評被害を発生させないためには、報道量が少ない段階で、いかに流通業者・関係者の過剰反応を抑えるための教育・啓蒙活動を行い、過剰反応を防ぎ、取引拒否や価格下落という経済的被害を発生させないようにつとめることができるか重要。

## 風評被害発生のメカニズム

風評被害とは

ある事件、事故・環境汚染・災害が大々的に報道されることによって、本来『安全』とされる食品・商品・土地を人々が危険視し、消費や観光をやめることによって引き起こされる経済的被害



## 効果的な「風評被害」防止策

「流通業者・関係者の過剰反応を抑えるための教育・啓蒙活動」。特に「風評被害」は報道量の増加に伴って起るものであるから、報道量が少ない段階で流通業者・関係者が過剰な反応をすることを防ぐこと

# 本年度の事業で得た調査体制構築に向けた示唆

水産物のメイン販路であり、動向に敏感な小売業対策の重要性

福島水産物主販路（中小料飲店）対策としての仲卸政策の必要性

被災影響が懸念される地域の地場小売業に対してヒアリングやその先の展開として説明会等の実施の有効性

水産物の販路は、加工向け、小売り向け、料飲店向けに分けられる。

東日本大震災の際、水産物流通への影響はスーパー向けのほうが料飲店向けよりも大きかった。

量販店の買い物客は安全性や健康に良いかを重視する。料飲店客（とくに居酒屋）は健康をそこまで重視しないからである。

今回の海洋放出についても反応のあり方は同様と思われる。したがってまず小売業への対策を重視することが必要である。

風評被害があるとすれば最も影響を受けやすいと考えられる福島産の主な販売先は、たとえば東京では、主として中小料飲店となっている。

これは、福島産の水産物は、震災以前から高価格帯のものが多く、1魚種あたりの量もまとまらないため、大量低価格仕入・販売の大手小売・外食チェーンは扱いにくいためである。

こうした中小料飲店は、商品仕入や情報を仲卸に負っている。放射線を含め、商品の安全が問題となる状況では、仲卸に意見を求める。したがって、仲卸が安全性をどれだけ説明できるかは福島産水産物の風評被害発生を防ぐ上では重要である。

しかし、現状は、仲卸自身は処理水の安全性に疑問をもたないものの、それを人にクリアに説明できないのが現状である。

海洋放出が近づき、中小料飲店から尋ねられた時に、仲卸が安全性をきちんと説明できるよう、今から啓発しておくことが重要である。

小売業の中でも特に地場スーパーは、大手との差別化の上で地域の生産者と結びつきを強めている場合が多い。

そのため被災地域の地場小売業は、当該地域で風評被害を受けた際、地場生鮮品の取扱減少という形で直接的影響を受けやすい状況にある。

したがって、他の規模・地域の小売業と比べて、海洋放出の問題にも敏感であり、影響が懸念される地域の地場小売業に対して十分な対策をとることが肝要である。

一方、地域小売業自身はプッシュ型の情報発信の実施如何を問わず、海洋放出に際しても「地域のお客様が安心して買い物できる店」と思ってもらうことを目指している。そのため社員の理解向上につながる説明会等のニーズを有する。リソースが必ずしも十分でない場合もあり、官公庁担当官からの情報提供には、自社開催ではできない成果が得られると期待する声もある。

また地場スーパーの利用客は、利用する店に信頼を寄せているため、店の説明力を高めることは消費者理解の拡大にも寄与する。

こうしたことから、被災影響が懸念される地域の市場小売業に対してヒアリングやその先の展開として説明会等を行うことは重要な対策となる。

望まれる今年の年末までの体制構築

地域の意欲ある水産者等との情報発信等の協働等を通じた連携強化

買い控え等の影響が出るタイミングについて、事業者調査では現在は国内では全く影響は出ておらず、影響が出るのは「実際に海洋放出が始まつたから」との意見が最も多かった。

その時までに風評被害が起こらない・起こりにくい環境を事前に構築していくことが重要であることはいうまでもない。

それをふんだもう一つの重要なタイミングが、その3~4ヶ月前である。小売業や外食産業が商品政策を決めるのがそのタイミングだからである。来春に海洋放出があるとした場合、今年の年末頃である。

今年度事業者ヒアリングを行った範囲では、現状、アルブス処理水の海洋放出の決定を踏まえて商品政策を変更した、あるいは政策変更する予定があるという事業者は無いものの、もしあるとすればそうした時期に検討される可能性がある。

したがって風評被害が起こらないための体制構築は今年年末までには構築されることが望ましい。

地域の意欲ある水産者等と連携して、彼らを前面に出し、動画等により情報発信していくことは有効と考える。

彼ら自身が、漁の様子や安全確保のための取り組みを、ライブ感と思いを伴って発信することは、風評等情報の流布に対抗する効果がある。

また、意欲ある事業者の情報を発信することは、回復途上にある被災地のその他の漁業者の考え方や行動に影響を与えて、彼らの漁業活動へのモチベーションを高めうる。

加えて、一連の取り組みにより現地事業者と国との関係性を強化することによって、海洋放出に向けた対応をより協調的な関係のもとで進めることにも寄与すると考えられる。

## **II 調査計画とその考え方**

# 実現すべき状態と構築すべき調査体制

十全な調査体制を構築し、風評被害が起こらない環境を整備するために、以下体制の構築を提案する。  
本報告書の内容をベースとしつつ、来年度貴庁府担当課と詳細相談の上で、調査等を実施するものとする。

## 実現すべき状態

風評被害の一因となる情報の流布を把握できる状態

消費者の風評に対する反応を把握できる状態（買い控え、観光控え、他）

事業者への風評の影響を把握できる状態（買い叩き、買い控え、需要減少、その他）

風評等情報の広がりを抑えやすくする

買い控え、買い叩きを防ぐ

## 構築すべき調査体制

消費者調査  
(ネットモニター)

事業者調査  
(アンケート、ヒアリング)

観光動向調査

卸売価格調査

輸出動向調査

購買行動  
観光行動の  
把握

取引（輸出含）動向  
(買い叩き・買い控え) の把握

メディア・SNS分析

風評の把握

調査を実施することによる牽制・抑止、及び調査結果をふまえた速やかな対応の実施

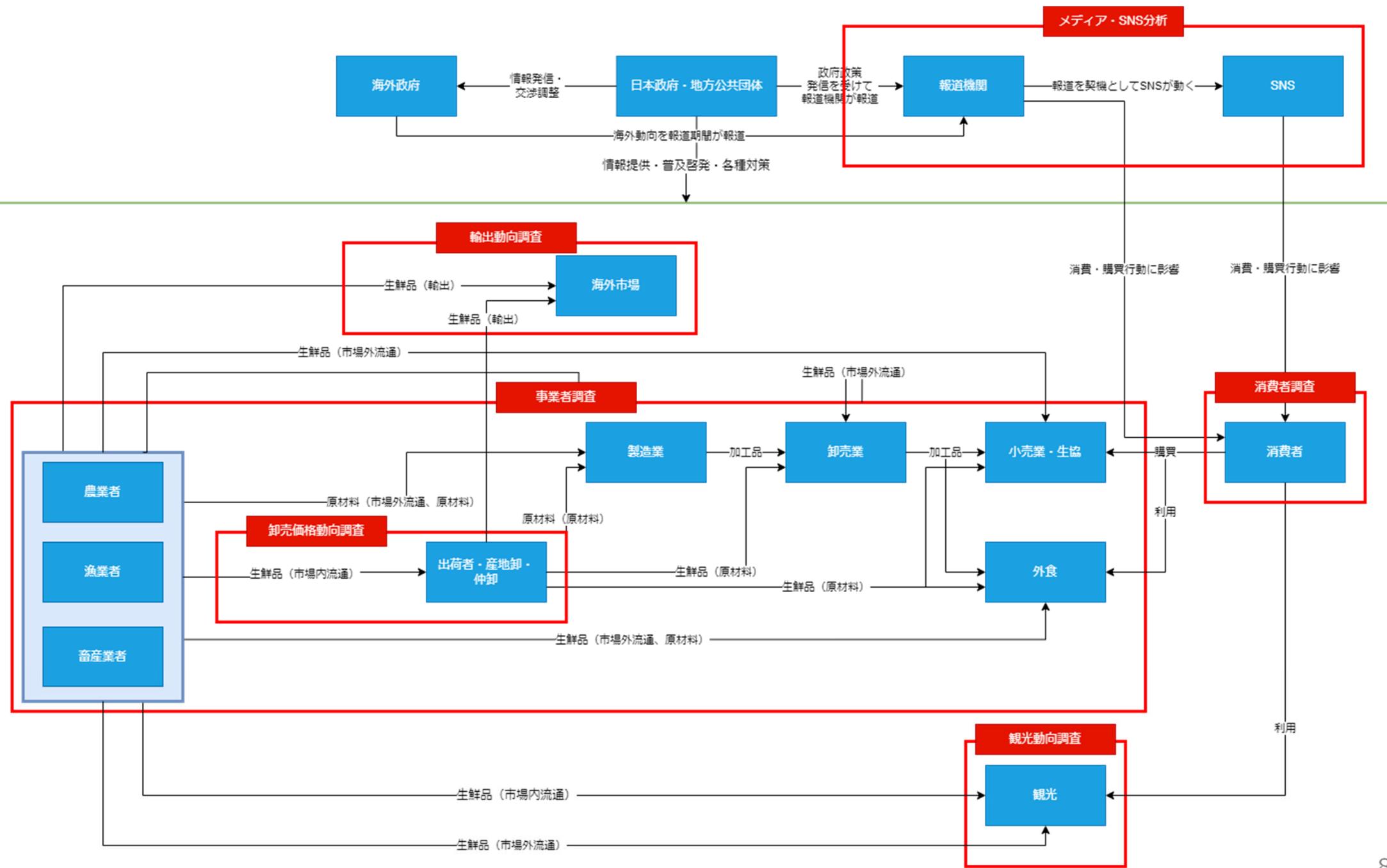
風評等情報の広がりを抑えやすくする

アンケートを通じた消費者啓発やヒアリングを通じた事業者の啓発及び関係性強化

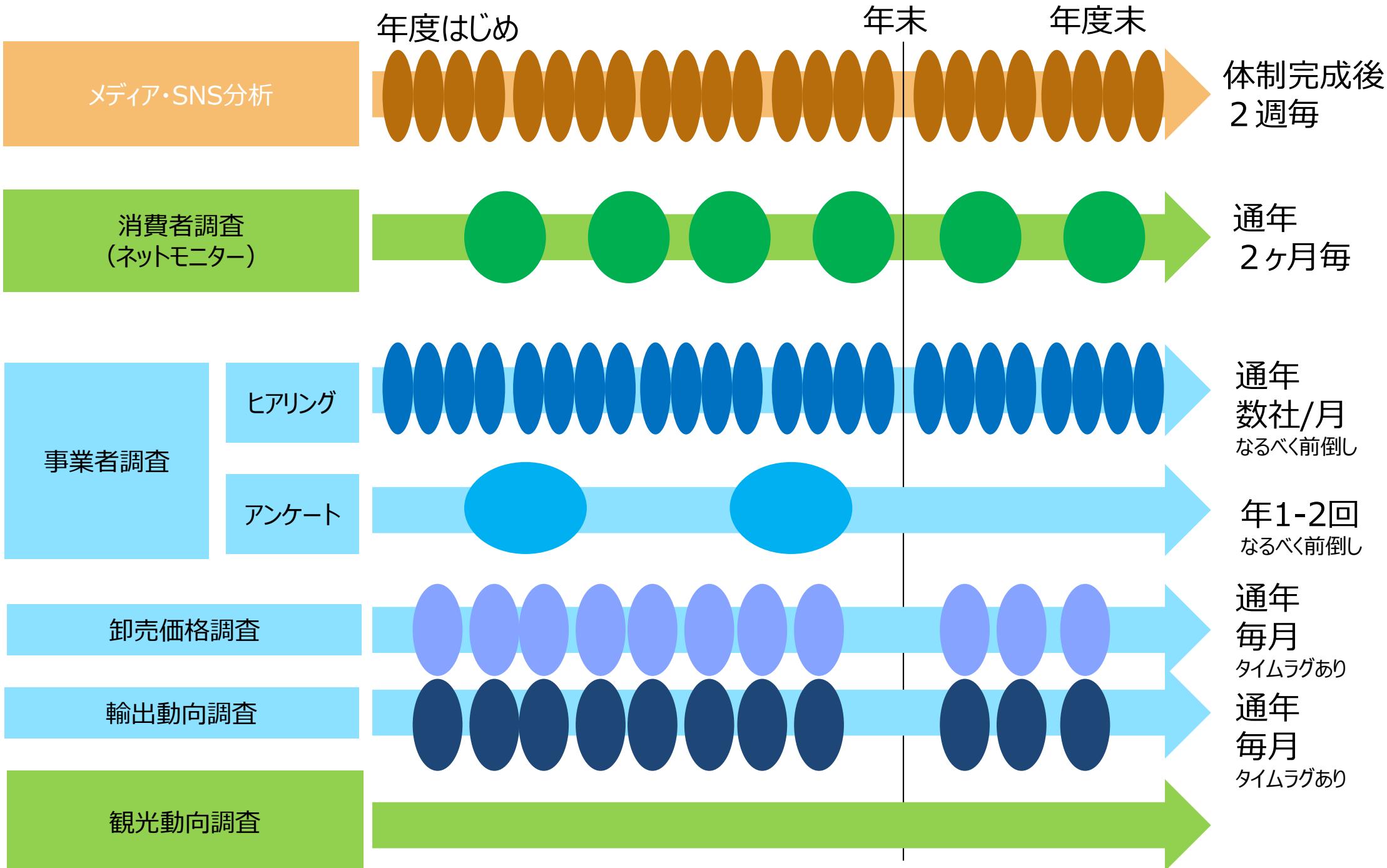
買い控え、買い叩きを防ぐ

# 調査体制がカバーする領域

前ページの調査体制を構築することで、国内の生鮮・食料品の流通全範囲に加えて、消費者、輸出、観光、メディア・SNSをカバーする。



## 調査の時間軸



## 得ていく情報の種類とタイミング/ピッチ

	即時性重視 リアルタイム	準リアルタイム	情報量重視 リードタイムあり
定量的情報	消費者調査	卸売価格調査 観光動向調査	輸出動向調査 事業者アンケート
定性的情報	メディアSNS分析	事業者ヒアリング	

### **III 事業者調査の実施計画**

## 事業者調査

事業者調査は以下のように実施することを提案する。ヒアリングは重要地域から2巡し12月までに終える。

調査対象品目	調査概要	調査方法	対象業種	調査対象地域	調査頻度	実施におけるポイント
・水産	・東日本大震災の影響 ・東日本大震災の影響の克服に向けた対応	ヒアリング調査 (訪問、WebMTG)	小売業 外食産業（大手）	北海道、青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉 東京、神奈川、愛知、大阪	月3～4者程度／通年	・ヒアリング調査は、情報収集するだけでなく、事業者との関係性構築の場と位置づけ、先方の社内勉強会開催や情報発信の連携について、今後協力しあえるように調整を行う。
			卸売業・仲卸 製造業 農林水産業（とくに水産業） 食品輸出に関わる事業者 観光業	北海道、青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉		
・畜産 ・農産（米、野菜、果物） ・自社取り扱いの関連加工品	・ALPS処理水の海洋放出決定による影響 ・ALPS処理水の海洋放出に向けて生鮮部門等において検討している対策・対応 ・放出前後に政府にもとめること	アンケート調査 (郵送配布、回収は郵送・メール・Web等)	小売業 外食産業（大手） 卸売業・仲卸 製造業 農林水産業（とくに水産業） 食品輸出に関わる事業者 観光業	全国	年2回	・アンケート調査では、貴省事業への協力意向や社内勉強会等による連携意向を確認し、有力先は個別にアプローチする。

### 事業者ヒアリング実施時期（案）

業種	北海道	青森	岩手	宮城	福島	茨城	千葉
小売業	8月 2回、12月 1回	7月 1回、11月 1回	7月 1回、11月 1回	5月 2回、10月 2回	4月 2回、9月 2回	6月 2回、10月 2回	7月 1回、12月 1回
外食産業（大手）	8月 2回、12月 1回	7月 1回、11月 1回	7月 1回、11月 1回	5月 2回、10月 2回	4月 2回、9月 2回	6月 2回、10月 2回	7月 1回、12月 1回
卸売業・仲卸	8月 2回、12月 1回	7月 1回、11月 1回	7月 1回、11月 1回	5月 2回、10月 2回	4月 2回、9月 2回	6月 2回、10月 2回	7月 1回、12月 1回
製造業	8月 1回、12月 1回	7月 1回、11月 1回	7月 1回、11月 1回	5月 1回、10月 1回	4月 1回、9月 1回	6月 1回、10月 1回	7月 1回、12月 1回
農林水産業（とくに水産業）	8月 2回、12月 1回	7月 1回、11月 1回	7月 1回、11月 1回	5月 2回、10月 2回	4月 2回、9月 2回	6月 2回、10月 2回	7月 1回、12月 1回
食品輸出に関わる事業者	8月 1回、12月 1回	7月 1回、11月 1回	7月 1回、11月 1回	5月 1回、10月 1回	4月 1回、9月 1回	6月 1回、10月 1回	7月 1回、12月 1回
観光業	8月 1回、12月 1回	7月 1回、11月 1回	7月 1回、11月 1回	5月 1回、10月 1回	4月 1回、9月 1回	6月 1回、10月 1回	7月 1回、12月 1回
合計	18回	14回	14回	22回	22回	22回	14回

業種	東京	神奈川	愛知	大阪	合計
小売業	7月 2回、10月 2回	8月 2回、11月 2回	9月 1回、12月 1回	9月 1回、12月 1回	33回
外食産業（大手）	7月 2回、10月 2回	8月 2回、11月 2回	9月 1回、12月 1回	9月 1回、12月 1回	33回
卸売業・仲卸	7月 1回、10月 1回		9月 1回、12月 1回	9月 1回、12月 1回	27回
製造業					14回
農林水産業（とくに水産業）					21回
食品輸出に関わる事業者					14回
観光業					14回
合計	10回	8回	6回	6回	156回

## 東日本大震災の影響について

- ・震災前後における福島県及び東日本太平洋沿岸地域の生鮮品の取扱状況
- ・福島県及び東日本太平洋沿岸地域の水産物と青果物の取引量や取引価格、事業者の動向に生じた変化
- ・震災の影響の現在の継続の有無

## 東日本大震災の影響の克服に向けた対応

- ・東日本大震災の影響の克服に向けた対応の状況
- ・そのなかで有効だった取り組み

## ALPS処理水の海洋放出決定による影響

- ・海洋放出決定後の、生鮮品の取引における注視すべき動きの有無、内容
- ・上記の動きが、今後、（さらに）顕在化する時期の見通し
- ・こうした動きを把握するために注目すべき点、行うべきことについて
- ・ALPS処理水に関する事柄で、仕入先・同業他社における動向

## 今後の方針

- ・今後予定される海洋放出に向けて、生鮮部門等において検討している対策・対応
- ・今後、現在の方針を変更するとしたら、どのような場合か、また、どのように対応するか

## 放出前後に政府にもとめること

- ・取引を円滑に継続いただくという観点から、放出の前後において、政府にはどのようなことを求めるか（わかりやすいデータの公表、風評対策のイベント等）
- ・個社や各団体などへの説明会等開催していきたいが、ニーズはあるか。また、誰にどのような場で説明するのが効果的か

## その他

- ・ALPS処理水に関して、気になっていること、知りたい情報など
- ・上記以外に、お伺いすべきこと

## **IV 消費者調査の実施計画**

## 消費者調査は以下のように実施することを提案する

### 配布件数・回数

- 2,100人（年代3区分×地域7区分）×年5～6回実施（※）
  - 対象地域：全国

### 調査項目

- 回答者属性
- 震災以降の買い物行動・観光行動の変化
- ALPS処理水についての認知
- ALPS処理水について知っていることや意見
- ALPS処理水の安全性を理解する上で、重要だと思った情報
- ALPS処理水にかかる買い物行動の変化の有無、その内容
- ALPS処理水にかかる観光行動の変化の有無、対象地域、その理由
- ALPS処理水に関する一般消費者の意識について
- ALPS処理水に関する現在の情報提供量に対する評価
- 重視する情報発信主体
- 必要な情報の内容

※現在、年1回、「食と放射線に関する消費者意識実態調査」（消費者庁）が実施されているが、本提案は速報性及び内容において、同調査を補完し、重複しないような内容

### 実施のポイント

- インターネットモニター調査を調査会社のシステムを利用して行う。
- 目標とする回収数に到達するまで調査を継続する。
- 回答者の性別・年代構成についてもコントロールできる。
- 回答中に、放射線検査や観光に関する動画を視聴してもらう。その視聴効果測定とともに、被調査者を啓発するねらい。

プリテストを実施して、内容を調整し、本運用としたい

## **▽ 価格・取引量調査の実施計画**

準リアルタイム性のある定量的情報として、卸売市場が公表している取引価格データ等を月1回収集する。

### 調査内容・実施方法

- 実施頻度：データを毎月更新する（タイムラグあり）
- 対象品目：各県ごとに、出荷高等の水産、農産、米、畜産の各上位3品目程度（米は1品目）を対象とする。
- データ収集項目：平均取引価格、取引数量
- データ取得期間：2020年1月以降
- 米は、全国的に生産地が多いため一つの項目として状況をおいたい。
- 対象市場：全国6大市場（米を除く）

※ 米については農林水産省が毎月、都道府県別の代表銘柄の価格を公表しているため、そのデータを用いることとする。

### 実施のポイント

- 品目は、上位3品目を原則とするが、震災後、価格下落のなかつた品目は除き繰り上げて品目を選定する。
- 遠海魚（マグロとカツオ）は対象外とする。
- また、比較できる他の都道府県があるように、品目を設定する。
- 前年同月あるいは同年前月比でみて、一定比率（例えば5%以上）の価格下落があった場合を要注意事態発生とし、当該品目の関わりの深い事業者等と連携して、状況を確認につとめることとする。

# 価格調査 – 対象品目案（各都道府県の生鮮各部門の出荷額上位3品目を原則として調査対象とする）

都道府県	水産			農産			米			畜産		
北海道	ほたてがい（貝類）	さけ類（魚類）	こんぶ類（海藻類）	ばれいしょ	たまねぎ	てんさい	ゆめびりか,きらら397,まっしぐら			生乳	肉用牛	乳牛
青森	するめいか（いか類）	あかいが（いか類）	なまこ類	りんご	ににく	やまのいも	つがるロマン,ひとめぼれ			豚	プロイラー	鶏卵
岩手	めばち（魚類）	あわび類（貝類）	さんま（魚類）	りんご	きゅうり	葉たばこ	あきたこまち,銀河のしづく,ひとめぼれ			プロイラー	豚	肉用牛
宮城	きはだ（魚類）	かつお（魚類）	めかじき（魚類）	いちご	ねぎ	きゅうり	つや姫,ササニシキ,あきたこまち			肉用牛	豚	鶏卵
秋田	はたはた（魚類）	べにずわいがに（かに類）	ひらめ（魚類）	りんご	ねぎ	えだまめ（未成熟）	めんこいな,ひとめぼれ,はえぬき			豚	鶏卵	肉用牛
山形	するめいか（いか類）	まだい（魚類）	その他の魚類（魚類）	おうとう	ぶどう	りんご	つや姫,雪若丸,コシヒカリ（中通り）			豚	肉用牛	生乳
福島	まいわし（魚類）	さば類（魚類）	さんま（魚類）	もも	きゅうり	トマト	コシヒカリ（会津）,コシヒカリ（浜通り）,ひとめぼれ,天のつぶ,コシヒカリ			肉用牛	鶏卵	豚
茨城	まいわし（魚類）	さば類（魚類）	しらす（魚類）	かんしょ	ねぎ	ねぎ	あきたこまち,あさひの夢,コシヒカリ			鶏卵	豚	生乳
栃木				いちご	もやし	トマト	あさひの夢,とちぎの星,あさひの夢			生乳	豚	肉用牛
群馬				キャベツ	きゅうり	なす	ゆめまつり,彩のかがやき			豚	生乳	肉用牛
埼玉				ねぎ	きゅうり	ほうれんそう	彩のきずな,コシヒカリ,コシヒカリ			鶏卵	豚	生乳
千葉	ぶり類（魚類）	さば類（魚類）	まいわし（魚類）	かんしょ	ねぎ	にんじん	ふさこがね,ふさおとめ,コシヒカリ			豚	鶏卵	生乳
東京	きはだ（魚類）	その他の魚類（魚類）	かれい類（魚類）	こまつな	ほうれんそう	日本なし				生乳		
神奈川	めばち（魚類）	きはだ（魚類）	しらす（魚類）	キャベツ	だいこん	みかん				豚	鶏卵	生乳
新潟	きはだ（魚類）	ぶり類（魚類）	べにずわいがに（かに類）	えだまめ（未成熟）	だいこん	ゆり	コシヒカリ（魚沼）,コシヒカリ（佐渡）,コシヒカリ（岩船）,こしいぶき,コシヒカリ			鶏卵	豚	生乳
富山	さんま（魚類）	めばち（魚類）	するめいか（いか類）	日本なし	大豆	トマト	てんたかく,コシヒカリ			鶏卵	豚	生乳
石川	ぶり類（魚類）	するめいか（いか類）	ずわいがに（かに類）	ぶどう	すいか	かんしょ	ゆめみづほ,コシヒカリ			鶏卵	生乳	豚
福井	ずわいがに（かに類）	ぶり類（魚類）	さわら類（魚類）	トマト	ばれいしょ	ねぎ	ハナエチゼン,あきさかり,ハツシモ			鶏卵	肉用牛	生乳
山梨				ぶどう	もも	すもも	コシヒカリ			生乳	鶏卵	
長野				ぶどう	りんご	レタス	あきたこまち,コシヒカリ			生乳	肉用牛	
岐阜				ほうれんそう	トマト	かき	コシヒカリ,あさひの夢,あいちのかおり			鶏卵	肉用牛	豚
静岡	きはだ（魚類）	しらす（魚類）	さば類（魚類）	みかん	茶（生葉）	いちご	きぬむすめ,あいちのかおり,コシヒカリ（一般）			鶏卵	生乳	肉用牛
愛知	しらす（魚類）	あさり類（貝類）	かたくちいわし（魚類）	きく	キャベツ	トマト	コシヒカリ,大地の風,コシヒカリ（一般）			豚	生乳	鶏卵
三重	さば類（魚類）	びんなが（魚類）	きはだ（魚類）	みかん	茶（生葉）	庭園樹苗木	コシヒカリ（伊賀）,キヌヒカリ,コシヒカリ			鶏卵	豚	肉用牛
滋賀				大豆	トマト	ねぎ	キヌヒカリ,みずかがみ,コシヒカリ			肉用牛	生乳	鶏卵
京都	さわら類（魚類）	ぶり類（魚類）	なまこ類	ねぎ	なす	茶（生葉）	キヌヒカリ,ヒノヒカリ,コシヒカリ			鶏卵	生乳	肉用牛
大阪	しらす（魚類）	まいわし（魚類）	まあじ（魚類）	ぶどう	ねぎ	なす				生乳		
兵庫	ずわいがに（かに類）	いかなご（魚類）	たこ類	たまねぎ	レタス	トマト	ヒノヒカリ,キヌヒカリ,ヒノヒカリ			鶏卵	肉用牛	生乳
奈良				かき	いちご	ほうれんそう	きぬむすめ			生乳	肉用牛	鶏卵
和歌山	しらす（魚類）	たちうお（魚類）	いせえび（えび類）	みかん	うめ	かき						
鳥取	ずわいがに（かに類）	ぶり類（魚類）	まいわし（魚類）	日本なし	ねぎ	すいか	コシヒカリ,ひとめぼれ,コシヒカリ			プロイラー	生乳	肉用牛
島根	ぶり類（魚類）	まあじ（魚類）	さば類（魚類）	ぶどう	トマト	ねぎ	きぬむすめ,つや姫,アケボノ			生乳	肉用牛	鶏卵
岡山	たこ類	いかなご（魚類）	がざみ類（かに類）	ぶどう	もも	トマト	コシヒカリ,きぬむすめ,コシヒカリ			鶏卵	生乳	肉用牛
広島	かたくちいわし（魚類）	しらす（魚類）	たこ類	みかん	トマト	ねぎ	あきさかり,あきうまん,コシヒカリ			鶏卵	豚	肉用牛
山口	まあじ（魚類）	ぶり類（魚類）	あまだい類（魚類）	いちご	ねぎ	みかん	ひとめぼれ,ヒノヒカリ,コシヒカリ			鶏卵	肉用牛	プロイラー
徳島	しらす（魚類）	いせえび（えび類）	たちうお（魚類）	かんしょ	にんじん	ブロッコリー	あきさかり,コシヒカリ			プロイラー	肉用牛	豚
香川	かたくちいわし（魚類）	たこ類	かれい類（魚類）	ブロッコリー	いちご	レタス	ヒノヒカリ,おいでまい,コシヒカリ			鶏卵	肉用牛	生乳
愛媛	かたくちいわし（魚類）	さば類（魚類）	まあじ（魚類）	みかん	いよかん	さといも	ヒノヒカリ,あきたこまち,コシヒカリ			豚	鶏卵	生乳
高知	めばち（魚類）	びんなが（魚類）	きはだ（魚類）	なす	みょうが	しょうが	ヒノヒカリ,夢つくし					
福岡	まだい（魚類）	たこ類	さわら類（魚類）	いちご	ぶどう	なす	ヒノヒカリ,元気くし,夢しづく			鶏卵	生乳	肉用牛
佐賀	まだい（魚類）	うに類	するめいか（いか類）	みかん	いちご	たまねぎ	さがびより,ヒノヒカリ,にごまる			肉用牛	プロイラー	豚
長崎	まあじ（魚類）	さば類（魚類）	ぶり類（魚類）	いちご	ばれいしょ	みかん	ヒノヒカリ,コシヒカリ,ヒノヒカリ			肉用牛	豚	プロイラー
熊本	まだい（魚類）	たこ類	たちうお（魚類）	トマト	みかん	いちご	森のくさん,コシヒカリ,ヒノヒカリ			肉用牛	生乳	豚
大分	しらす（魚類）	まあじ（魚類）	びんなが（魚類）	ねぎ	トマト	いちご	ひとめぼれ,つや姫,コシヒカリ			肉用牛	豚	生乳
宮崎	きはだ（魚類）	びんなが（魚類）	さば類（魚類）	きゅうり	ビーマン	トマト	ヒノヒカリ,ヒノヒカリ			肉用牛	プロイラー	豚
鹿児島	めばち（魚類）	きはだ（魚類）	さば類（魚類）	ばれいしょ	かんしょ	茶（生葉）	あきほなみ,コシヒカリ,			肉用牛	豚	プロイラー
沖縄	きはだ（魚類）	めばち（魚類）	びんなが（魚類）	さとうきび	きく	葉たばこ				肉用牛	豚	生乳

出所：農林水産省「生産農業所得統計\_令和2年農業産出額及び生産農業所得（都道府県別）」、農林水産省「令和元年漁業産出額 海?漁業・養殖業産出額、主要種別海漁業産出額」をもとに作成。18

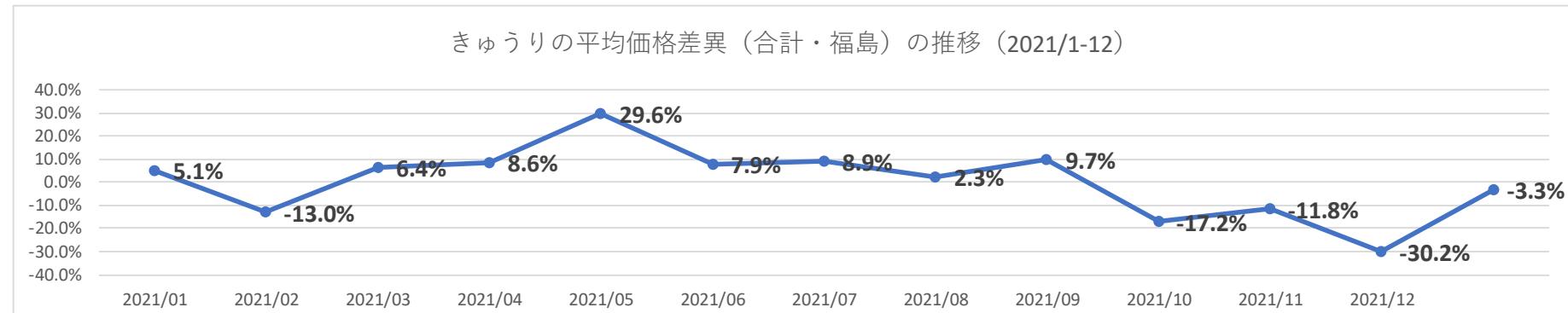
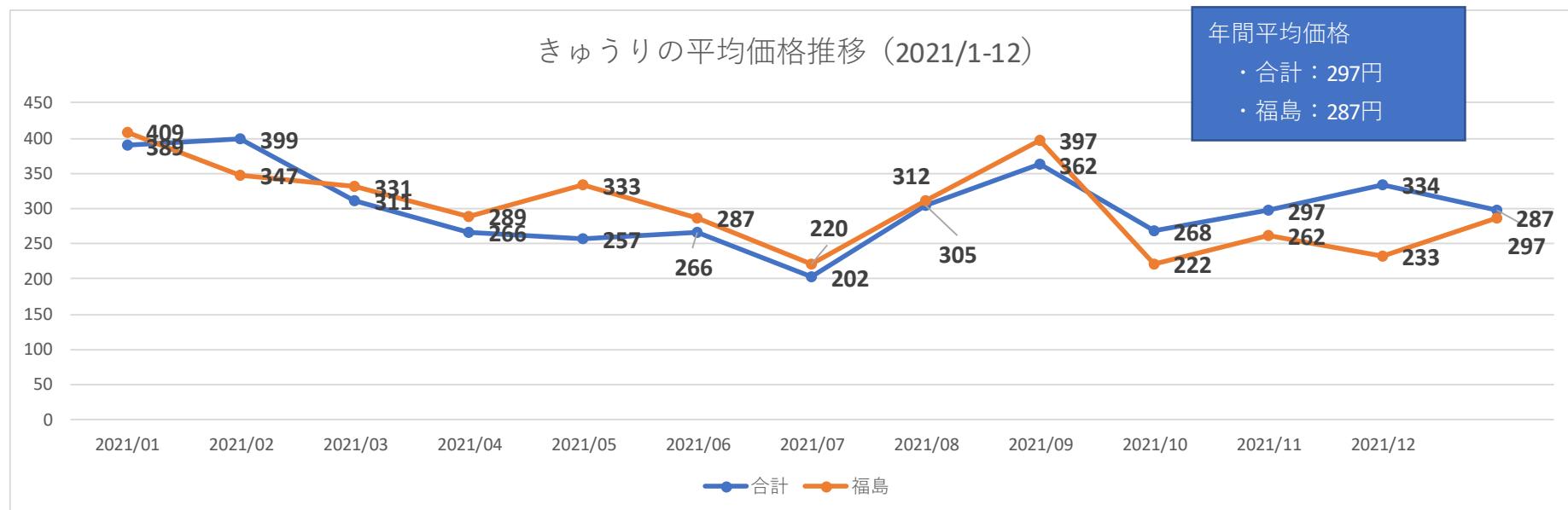
# 価格調査の実施イメージー福島産きゅうりの東京中央卸売市場での価格推移

期間 : 2021/1-2021/12

データ : 東京中央卸売市場の全市場 (<https://www.shijou-tokei.metro.tokyo.lg.jp/>)

産地	指標	2021/01	2021/02	2021/03	2021/04	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	合計
合計	平均価格	389	399	311	266	257	266	202	305	362	268	297	334	297
福島	平均価格	409	347	331	289	333	287	220	312	397	222	262	233	287
合計	数量	4,710,563	4,796,666	6,137,262	7,416,818	7,633,330	7,534,293	8,176,579	7,943,227	6,813,234	5,766,715	5,191,013	4,532,139	76,651,839
福島	数量	7,960	625	10,365	56,971	208,921	1,073,249	3,350,963	3,391,454	1,687,915	791,000	129,007	1,753	10,710,183
合計	金額	1,833,008,370	1,913,034,658	1,907,608,649	1,973,191,434	1,962,647,984	2,004,505,107	1,655,741,330	2,426,453,801	2,466,500,435	1,545,182,439	1,542,804,834	1,514,813,235	22,745,492,276
福島	金額	3,258,965	217,134	3,435,966	16,457,135	69,635,652	308,018,982	738,044,406	1,056,490,142	669,320,752	175,430,832	33,853,297	408,996	3,074,572,259

福島	平均価格差	5.1%	-13.0%	6.4%	8.6%	29.6%	7.9%	8.9%	2.3%	9.7%	-17.2%	-11.8%	-30.2%	-3.3%
福島	数量シェア	0.2%	0.0%	0.2%	0.8%	2.7%	14.2%	41.0%	42.7%	24.8%	13.7%	2.5%	0.0%	14.0%



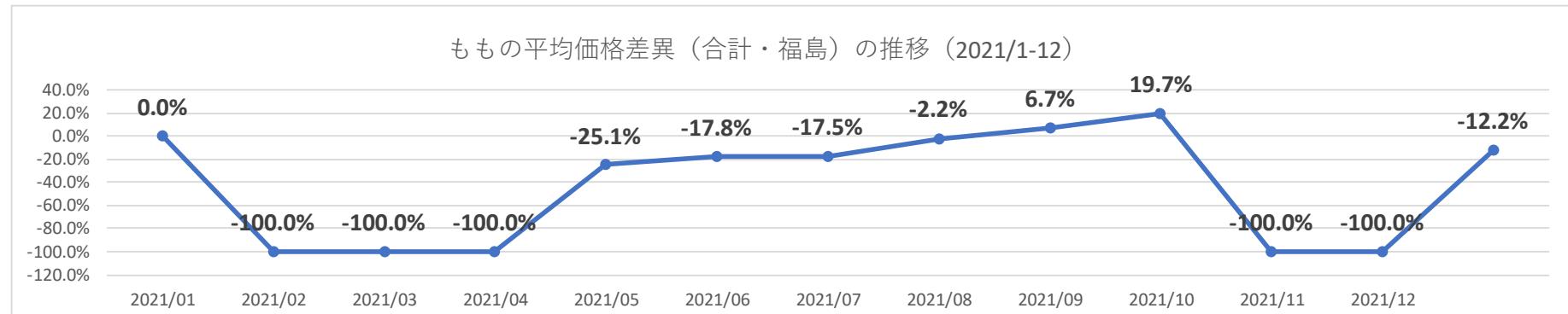
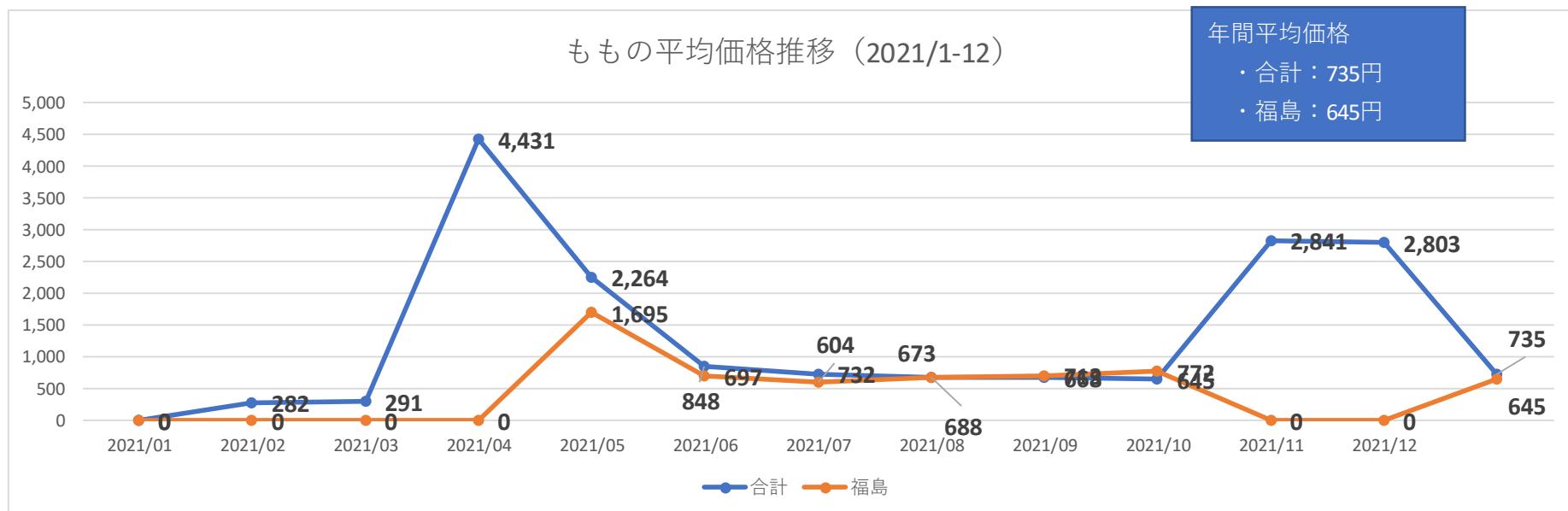
# 価格調査の実施イメージー福島産ももの東京中央卸売市場での価格推移

期間 : 2021/1-2021/12

データ : 東京中央卸売市場の全市場 (<https://www.shijou-tokei.metro.tokyo.lg.jp/>)

産地	指標	2021/01	2021/02	2021/03	2021/04	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	合計
合計	平均価格	0	282	291	4,431	2,264	848	732	688	668	645	2,841	2,803	735
福島	平均価格	0	0	0	0	1,695	697	604	673	713	772	0	0	645
合計	数量	0	93	396	1,991	56,043	1,440,017	6,064,226	3,888,803	1,011,769	14,902	1,659	1,686	12,481,585
福島	数量	0	0	0	0	166	17,325	1,586,717	1,692,978	236,058	4,875	0	0	3,538,119
合計	金額	0	26,190	115,236	8,822,339	126,905,410	1,220,851,899	4,441,603,065	2,676,851,885	675,831,701	9,610,481	4,712,634	4,726,393	9,170,057,233
福島	金額	0	0	0	0	281,448	12,079,693	958,727,732	1,140,122,531	168,367,777	3,761,100	0	0	2,283,340,281

福島	平均価格差異	#DIV/0!	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-25.1%	-17.8%	-17.5%	-2.2%	6.7%	19.7%	-100.0%	-100.0%	-12.2%
福島	数量シェア	#DIV/0!	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	1.2%	26.2%	43.5%	23.3%	32.7%	0.0%	0.0%	28.3%



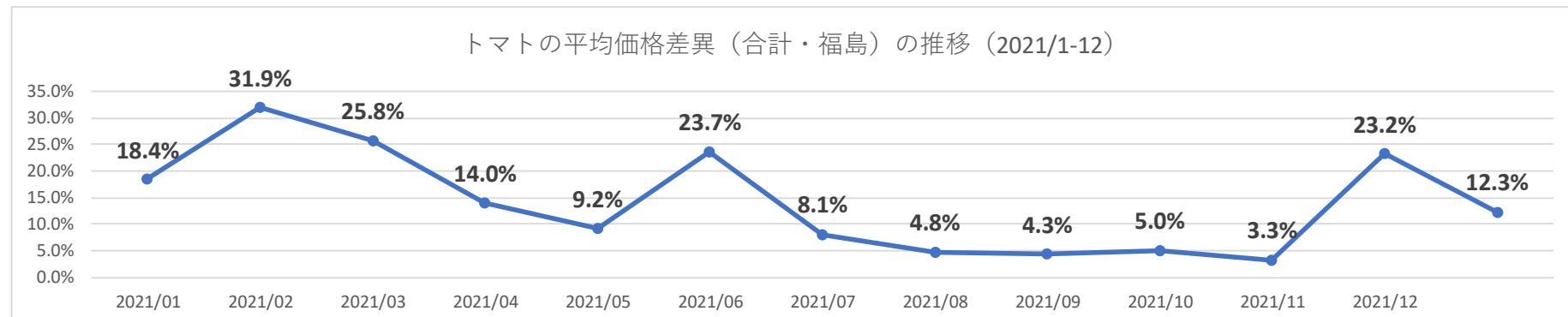
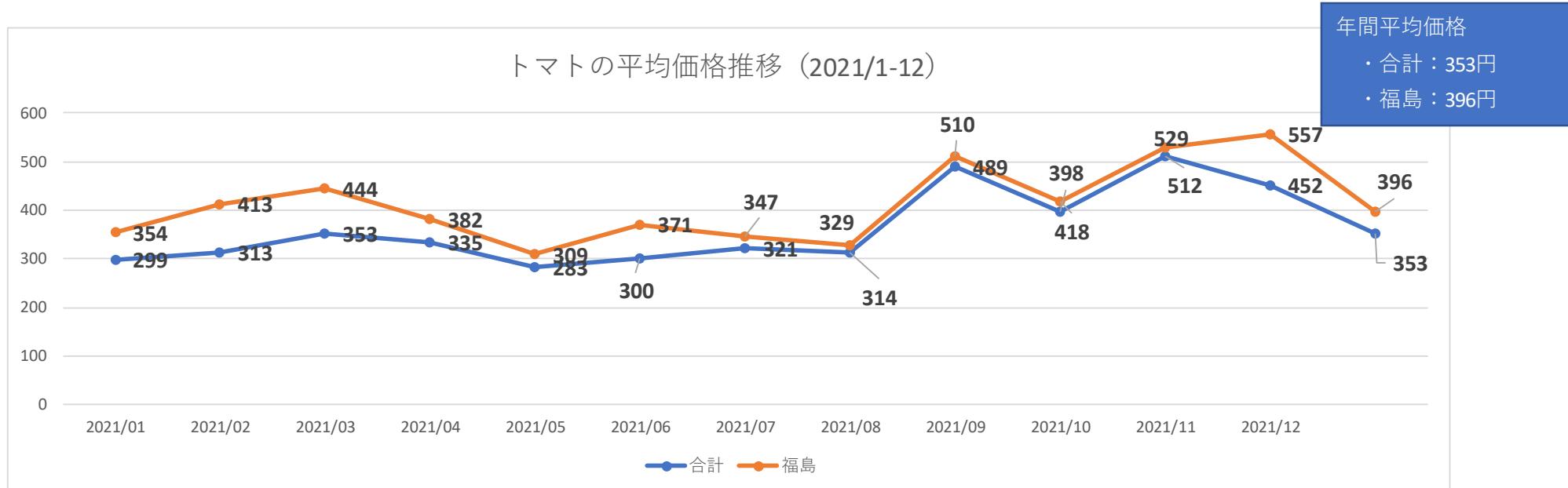
# 価格調査の実施イメージー福島産トマトの東京中央卸売市場での価格推移

期間 : 2021/1-2021/12

データ : 東京中央卸売市場の全市場 (<https://www.shijou-tokei.metro.tokyo.lg.jp/>)

産地	指標	2021/01	2021/02	2021/03	2021/04	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	合計
合計	平均価格	299	313	353	335	283	300	321	314	489	398	512	452	353
福島	平均価格	354	413	444	382	309	371	347	329	510	418	529	557	396
合計	数量	5,937,414	5,448,057	6,294,084	7,345,869	9,096,506	7,248,853	8,004,866	8,199,439	5,902,222	5,824,690	4,478,410	4,477,946	78,258,356
福島	数量	42,385	39,539	39,355	29,023	50,518	103,865	478,147	1,464,698	867,413	626,846	67,807	41,104	3,850,700
合計	金額	1,775,724,410	1,706,330,694	2,224,138,878	2,464,147,378	2,574,171,788	2,177,567,497	2,571,129,638	2,571,172,892	2,888,834,642	2,319,014,094	2,292,177,459	2,023,390,166	27,587,799,536
福島	金額	14,994,097	16,327,279	17,473,450	11,083,075	15,629,939	38,557,273	165,935,133	481,367,672	442,330,068	262,025,165	35,866,485	22,878,453	1,524,468,089

福島	平均価格差異	18.4%	31.9%	25.8%	14.0%	9.2%	23.7%	8.1%	4.8%	4.3%	5.0%	3.3%	23.2%	12.3%
福島	数量シェア	0.7%	0.7%	0.6%	0.4%	0.6%	1.4%	6.0%	17.9%	14.7%	10.8%	1.5%	0.9%	4.9%



# 価格調査の実施イメージー福島産まいわしの東京中央卸売市場での価格推移

期間 : 2021/1-2021/12

データ : 東京中央卸売市場の全市場 (<https://www.shijou-tokei.metro.tokyo.lg.jp/>)

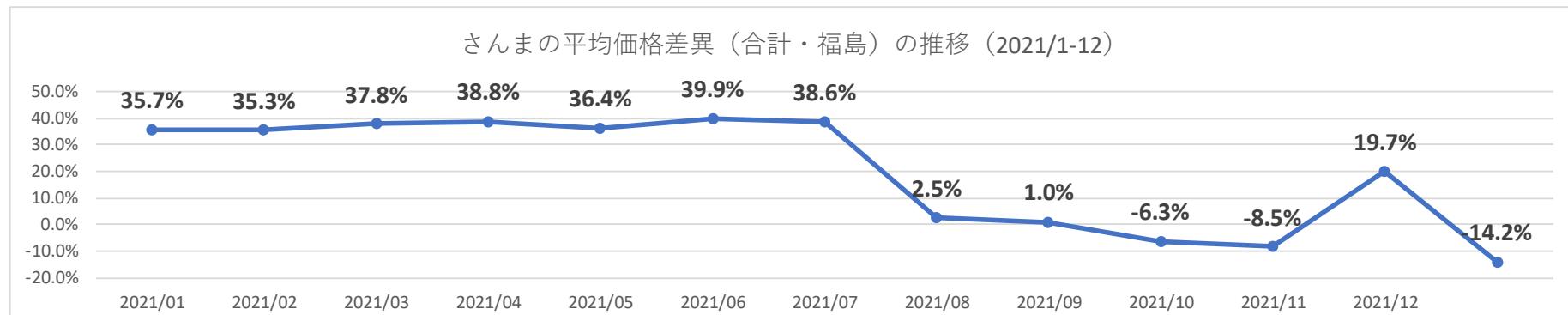
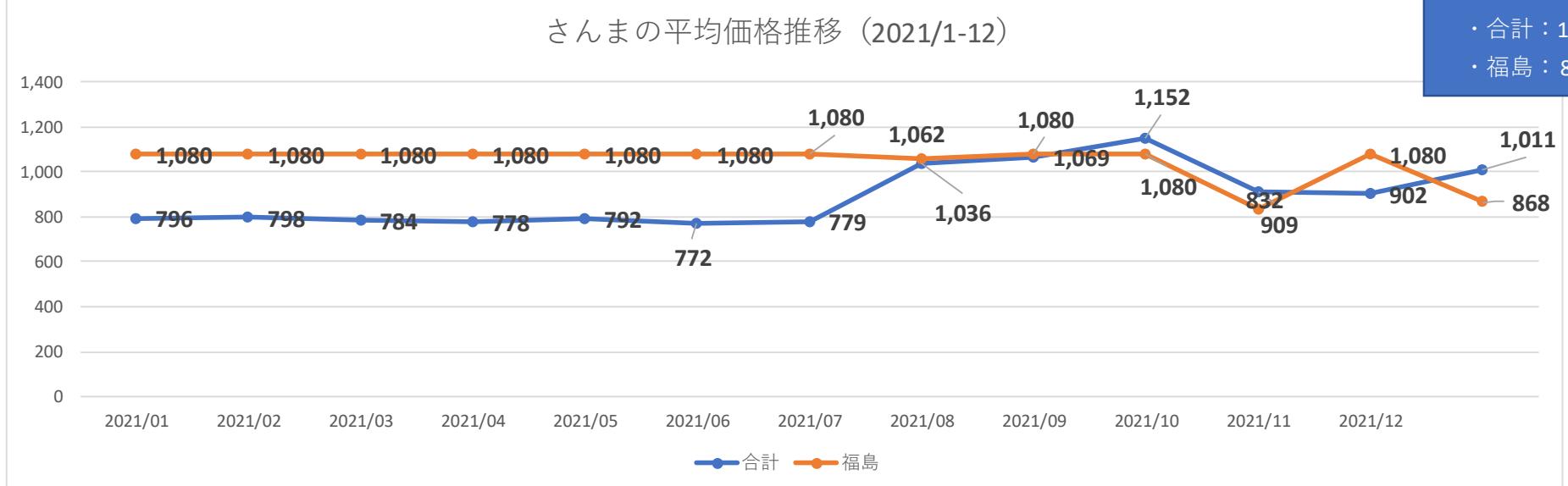
産地	指標	2021/01	2021/02	2021/03	2021/04	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	合計	
合計	平均価格	796	798	784	778	792	772	779	1,036	1,069	1,152	909	902	1,011	
福島	平均価格	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080	1,062	1,080	1,080	832	1,080	868	
合計	数量	44,554	33,665	40,839	38,231	34,158	30,546	43,294	155,642	574,469	744,224	697,372	97,069	2,534,063	
福島	数量	12	12	24	12	12	24	12	36	12	12	1,053	12	1,233	
合計	金額	35,458,431	26,862,163	31,997,944	29,731,961	27,047,805	23,585,430	33,740,018	161,267,085	614,110,700	857,046,859	634,214,984	87,530,641	2,562,594,021	
福島	金額	12,960	12,960	25,920	12,960	12,960	25,920	12,960	38,232	12,960	12,960	876,507	12,960	1,070,259	

福島	平均価格差異	35.7%	35.3%	37.8%	38.8%	36.4%	39.9%	38.6%	2.5%	1.0%	-6.3%	-8.5%	19.7%	-14.2%
福島	数量シェア	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%

年間平均価格

・合計 : 1,011円

・福島 : 868円

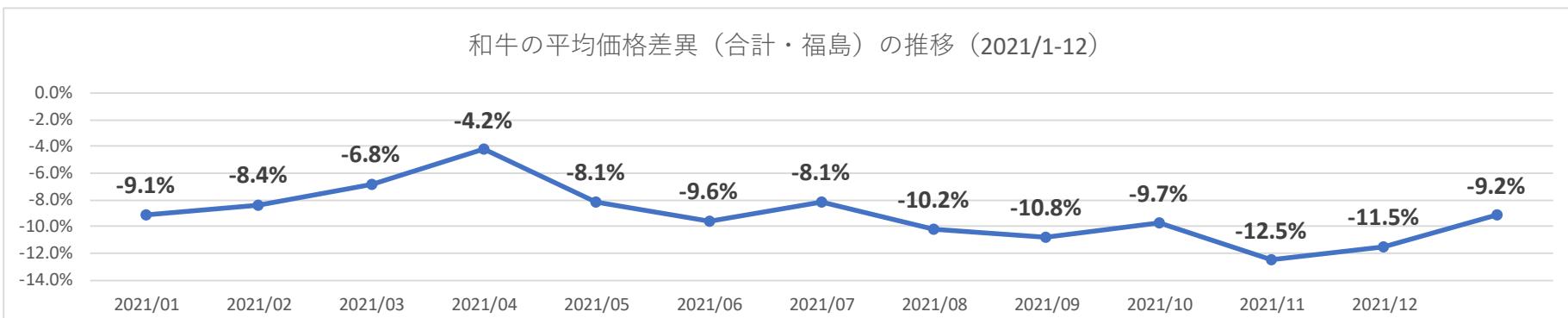
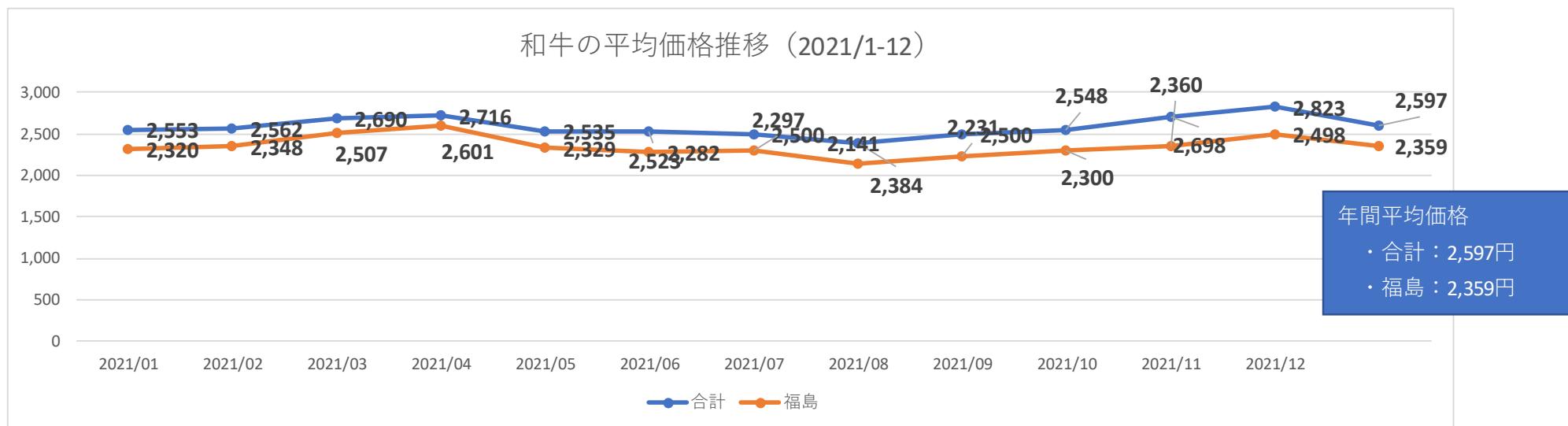


# 価格調査の実施イメージー福島産和牛の東京中央卸売市場での価格推移

期間 : 2021/1-2021/12

データ : 東京中央卸売市場の全市場 (<https://www.shijou-tokei.metro.tokyo.lg.jp/>)

産地	指標	2021/01	2021/02	2021/03	2021/04	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	合計
合計	平均価格	2,553	2,562	2,690	2,716	2,535	2,523	2,500	2,384	2,500	2,548	2,698	2,823	2,597
福島	平均価格	2,320	2,348	2,507	2,601	2,329	2,282	2,297	2,141	2,231	2,300	2,360	2,498	2,359
合計	頭数	4,361	4,718	5,650	6,062	4,764	5,558	5,760	4,834	5,072	5,729	6,744	6,437	65,689
福島	頭数	357	331	400	423	393	441	452	310	376	418	447	484	4,832
合計	重量	2,177,046	2,362,488	2,824,690	3,052,126	2,379,116	2,772,739	2,887,731	2,381,419	2,521,450	2,891,206	3,384,724	3,216,945	32,851,680
福島	重量	174,036	162,791	199,003	210,249	192,328	217,195	228,828	148,856	183,546	206,066	217,764	236,004	2,376,666
合計	金額	5,558,099,116	6,052,328,819	7,597,980,702	8,288,613,538	6,031,436,701	6,996,285,407	7,219,742,462	5,676,953,597	6,304,752,754	7,366,425,431	9,132,376,623	9,081,813,781	85,306,808,931
福島	金額	403,831,756	382,274,952	498,937,454	546,779,708	447,865,158	495,745,412	525,510,700	318,737,889	409,453,402	474,016,729	513,916,438	589,437,400	5,606,506,998
福島	平均価格差異	-9.1%	-8.4%	-6.8%	-4.2%	-8.1%	-9.6%	-8.1%	-10.2%	-10.8%	-9.7%	-12.5%	-11.5%	-9.2%
福島	頭数シェア	8.2%	7.0%	7.1%	7.0%	8.2%	7.9%	7.8%	6.4%	7.4%	7.3%	6.6%	7.5%	7.4%



# 価格調査の実施イメージー福島産豚の東京中央卸売市場での価格推移

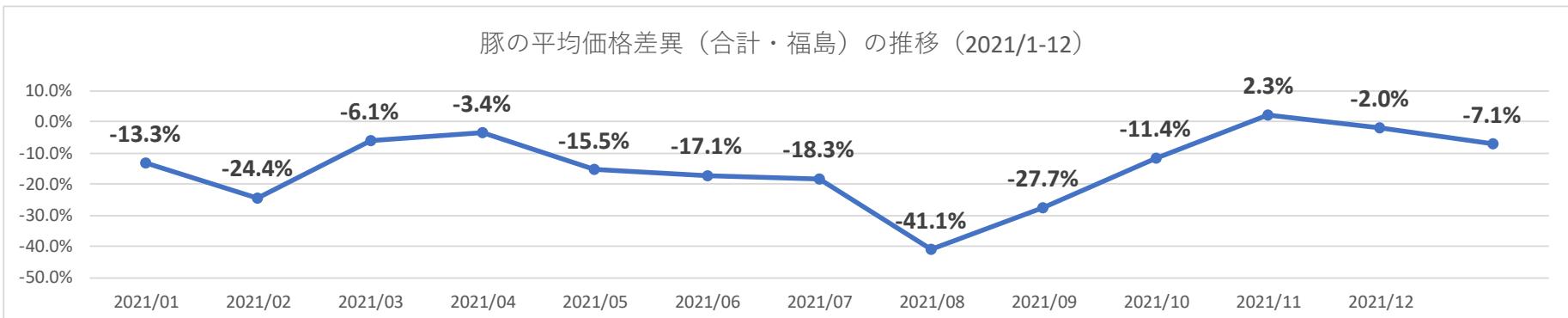
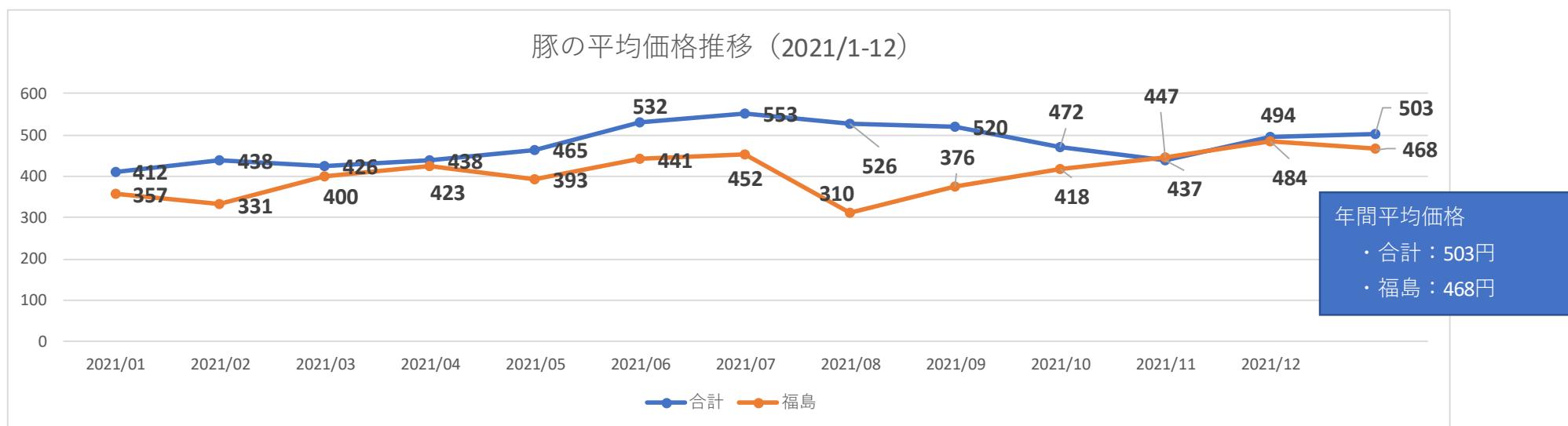
期間 : 2021/1-2021/12

データ : 東京中央卸売市場の全市場 (<https://www.shijou-tokei.metro.tokyo.lg.jp/>)

産地	指標	2021/01	2021/02	2021/03	2021/04	2021/05	2021/06	2021/07	2021/08	2021/09	2021/10	2021/11	2021/12	合計
合計	平均価格	412	438	426	438	465	532	553	526	520	472	437	494	503
福島	平均価格	357	331	400	423	393	441	452	310	376	418	447	484	468
合計	頭数	16,851	16,401	18,047	17,303	15,413	15,560	14,919	14,862	15,630	17,491	18,949	19,139	200,565
福島	頭数	1,152	1,506	1,857	961	692	831	899	755	882	1,629	1,748	1,022	13,934
合計	重量	1,386,981	1,342,128	1,478,816	1,411,512	1,257,212	1,267,591	1,206,319	1,182,240	1,262,028	1,409,688	1,545,477	1,573,865	16,323,854
福島	重量	102,287	129,665	151,311	81,238	56,645	75,797	79,325	66,616	81,121	137,703	146,449	91,376	1,199,531
合計	金額	621,646,841	613,176,209	658,781,012	651,585,168	596,191,420	729,711,763	713,300,268	686,338,906	706,262,881	696,032,261	701,706,490	837,742,682	8,212,475,901
福島	金額	42,116,682	56,798,293	64,490,406	35,615,958	26,358,971	40,337,949	43,863,703	35,061,563	42,167,030	64,999,154	63,937,533	45,141,318	560,888,560

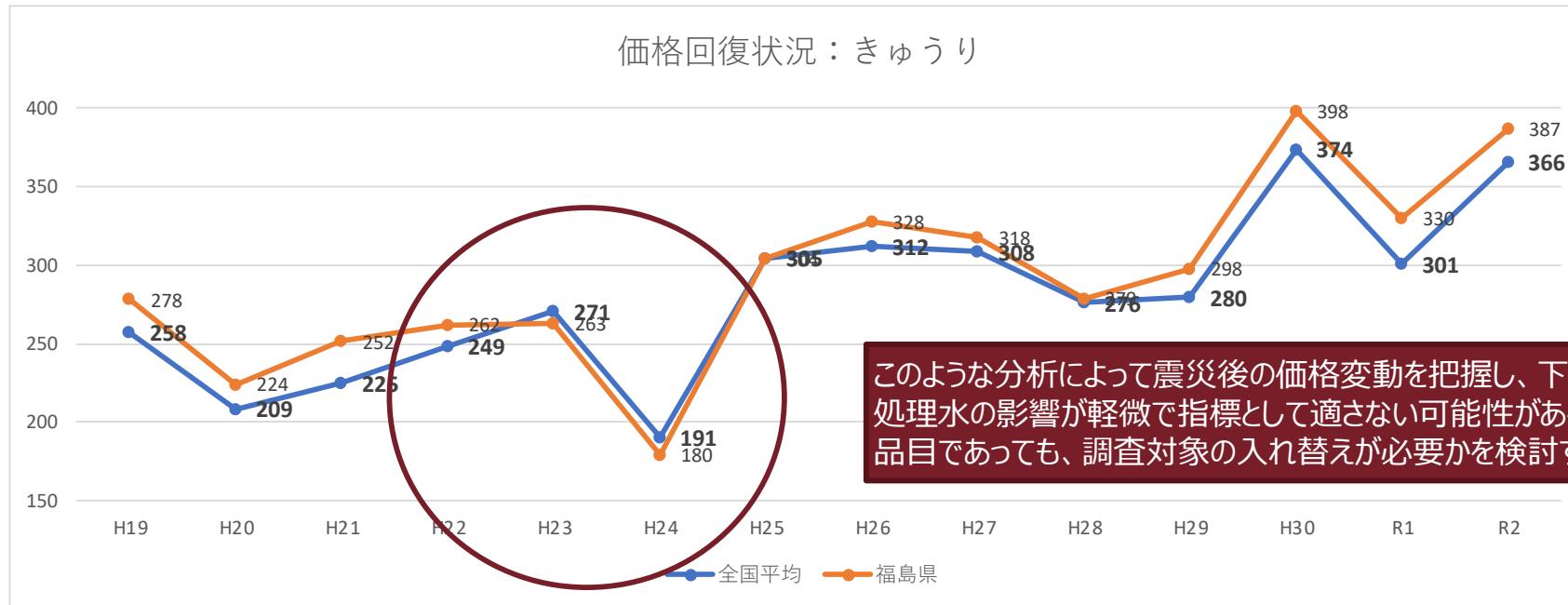
  

福島	平均価格差異	-13.3%	-24.4%	-6.1%	-3.4%	-15.5%	-17.1%	-18.3%	-41.1%	-27.7%	-11.4%	2.3%	-2.0%	-7.1%
福島	頭数シェア	6.8%	9.2%	10.3%	5.6%	4.5%	5.3%	6.0%	5.1%	5.6%	9.3%	9.2%	5.3%	6.9%



## 震災後の価格変動の把握イメージーきゅうり

	震災前					震災直後								
	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
全国平均	258	209	225	249	271	191	305	312	308	276	280	374	301	366
福島県	278	224	252	262	263	180	304	328	318	279	298	398	330	387
差(割合)	8.0%	7.5%	12.0%	5.5%	-2.9%	-5.8%	-0.3%	5.0%	3.0%	1.1%	6.6%	6.5%	9.8%	5.7%

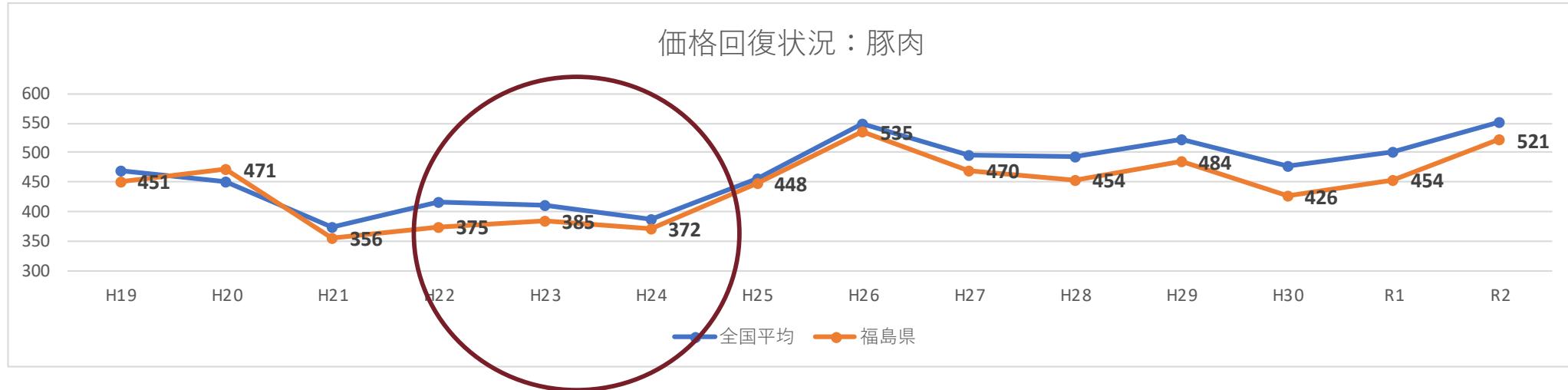


## 震災後の価格変動の把握 – 豚肉

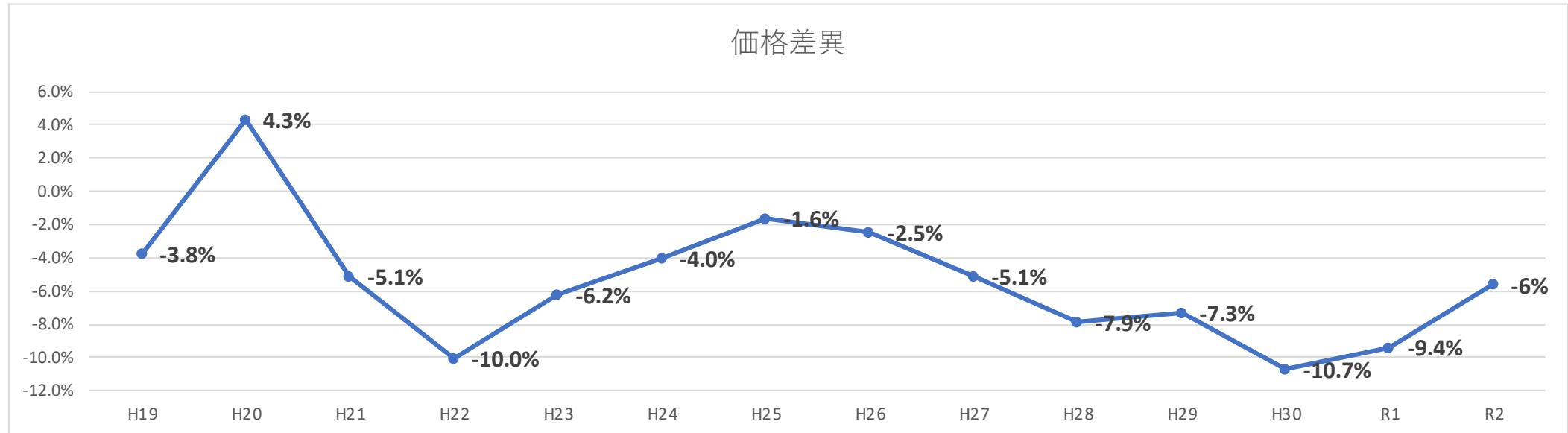
震災前 震災直後

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
全国平均	469	451	375	417	410	387	455	548	495	493	522	477	501	552
福島県	451	471	356	375	385	372	448	535	470	454	484	426	454	521
差(割合)	-3.8%	4.3%	-5.1%	-10.0%	-6.2%	-4.0%	-1.6%	-2.5%	-5.1%	-7.9%	-7.3%	-10.7%	-9.4%	-6%

価格回復状況：豚肉



価格差異



## **VI 輸出動向調査の実施計画**

## 輸出動向調査

# ALPS処理水海洋放出の日本産生鮮品への需要に対する影響をとらえるため、その時点の最新の政府統計を使い、輸出の変化を把握・分析する。

### 実施概要・利用統計

- ALPS処理水海洋放出の日本産生鮮品に対する需要に及ぼす影響をとらえるため、その時点における最新の「貿易統計」を使い、輸出の変化を把握・分析する。貿易統計は、輸出金額を月単位で品目別・相手国別に把握することができる財務省が公表している統計である。毎月の実績が2ヶ月後に公表される。公表データを集計して、分析を行う。

### 集計品目の設定

- 集計品目の設定は農林水産省が財務省の貿易統計をもとに再集計している「農林水産省輸出入情報」を参考に設定することを提案する。
- 農林水産省は貿易統計の細やかな品目別データを分析に適した粒度に整理集計している。農林水産省の手法を参考に集計単位を確定したい。

### 分析対象データ

- 月別・品目別・輸出先国別の輸出金額及び輸出量

- 対前年比較
- 対前月比較
- 対国内出荷額比較（国内と比べ海外の荷動きが低調なら、輸出に異状がある可能性）
- 各品目の輸出先国別動向比較（特定国だけ動向が異なれば、異状がある可能性）
- 事業者及び業界団体のヒアリングを通じて、各指標の変化について異常と判断すべきラインを設定する。ラインを超えたかどうかを1つの基準として、対応の有無を判断、迅速化する。

### 分析方法・視点

- 貿易統計は、輸出品目の生産地(都道府県)は特定できないため、あらかじめ別の政府統計を用いて、品目ごとの主要産地（都道府県）を把握しておく。
- 分析の結果、全体および国別での変動が見られる場合、国内の当該商品との関わりが深い事業者等と連携を取り状況把握を進めるものとする。

### 実施のポイント

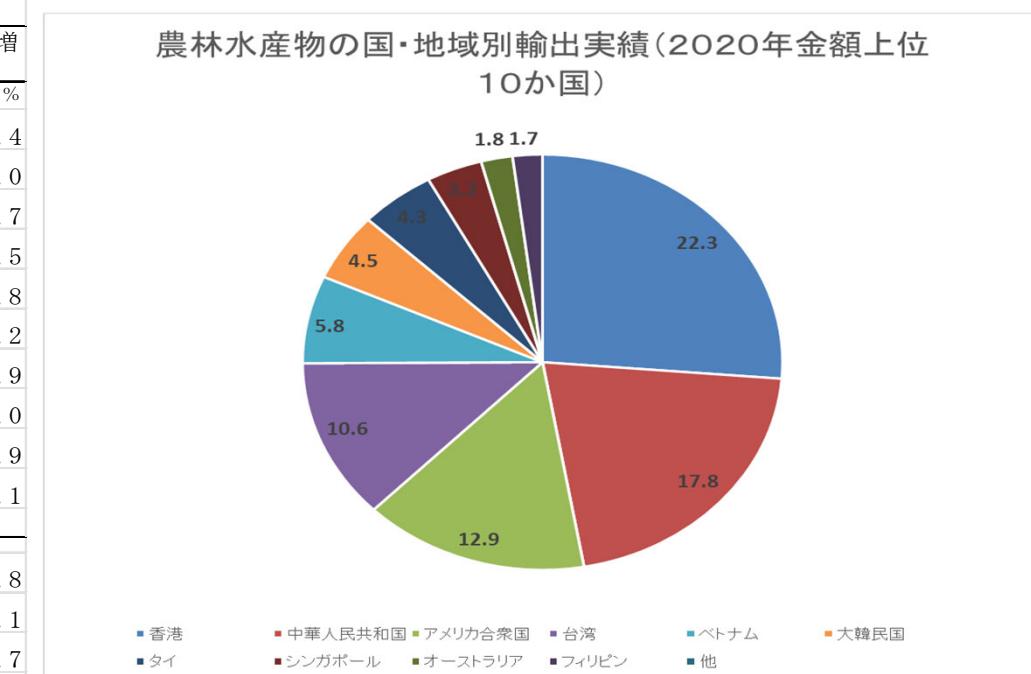
# 輸出動向調査－貿易統計を用いた分析のイメージ

貿易統計を用いることで、国別の輸出実績（金額・量）を把握することができる。

（以下では、農林水産物全体での輸出国別年間集計結果（2020年）を示している）

## 農林水産物の国・地域別輸出実績（2020年金額上位20か国）

順位		国・地域名	2019		2020	
2019年	2020年		輸出額	構成比	輸出額	構成比
			100万円	%	100万円	%
1	1	香港	203,684	22.3	<b>206,625</b>	22.3
2	2	中華人民共和国	153,679	16.8	<b>164,476</b>	17.8
3	3	アメリカ合衆国	123,785	13.6	<b>119,173</b>	12.9
4	4	台湾	90,384	9.9	<b>98,053</b>	10.6
6	5	ベトナム	45,385	5.0	<b>53,482</b>	5.8
5	6	大韓民国	50,144	5.5	<b>41,512</b>	4.5
7	7	タイ	39,504	4.3	<b>40,257</b>	4.3
8	8	シンガポール	30,566	3.4	<b>29,643</b>	3.2
9	9	オーストラリア	17,383	1.9	<b>16,526</b>	1.8
10	10	フィリピン	15,384	1.7	<b>15,401</b>	1.7
11	11	オランダ	14,352	1.6	<b>14,231</b>	1.5
14	12	マレーシア	10,600	1.2	<b>12,197</b>	1.3
12	13	カナダ	10,988	1.2	<b>10,913</b>	1.2
13	14	カンボジア	10,873	1.2	<b>10,599</b>	1.1
17	15	インドネシア	6,914	0.8	<b>7,844</b>	0.8
15	16	フランス	7,880	0.9	<b>7,703</b>	0.8
16	17	ドイツ	7,219	0.8	<b>7,451</b>	0.8
21	18	ロシア	3,612	0.4	<b>6,793</b>	0.7
18	19	英国	6,787	0.7	<b>5,589</b>	0.6
23	20	アラブ首長国連邦	3,460	0.4	<b>3,584</b>	0.4
	参考	E U (28か国)	49,438	5.4	<b>49,296</b>	5.3
		上位20か国計	852,582	93.5	<b>872,051</b>	94.2
		農林水産物計	912,095	100.0	<b>925,649</b>	100.0
						1.5



## 輸出動向調査－分析対象品目の設定イメージ：畜産

**貿易統計と農林水産省輸出入情報を用いて、以下の品目粒度にて、月次の動向を、品目別・相手国別の数量・金額を把握する。**

以下は令和4年1月の品目別・輸出国合算集計結果を例として示したものである。

品目（加工品等除く）	数量	金額（千円）	前年同期数量比%	前年同期金額比%
食肉及びその調製品	905,211	3,530,973	△21.2	30.4
食肉	716,877	3,386,141	△25.5	31.5
* 牛肉（くず肉含む）	461,096	3,209,265	20.3	37.8
* 牛肉（くず肉除く）	461,096	3,209,265	20.4	37.8
* 牛の臓器・舌	-	-	-	-
* 豚肉（くず肉含む）	148,448	142,426	△28.9	△15.6
* 豚肉（くず肉除く）	112,148	137,362	△11.3	△12.6
* 豚の臓器	10,000	1,293	-	-
* 鶏肉（くず肉含む）	97,333	33,157	△73.7	△56.2
食肉調製品	188,334	144,832	1.4	9.6
* 牛肉調製品	24,593	46,654	30.5	69.1
* 豚肉調製品	66,426	23,650	△44.2	△41.1
* ソーセージ類	3,243	3,679	…	…
* 鶏肉調製品	80,294	52,472	210.8	68.4
酪農品 鳥卵	3,656,890	1,762,241	28.7	11.7
酪農品	2,055,675	1,330,030	60.7	13
* 牛乳・部分脱脂乳	551,949	127,320	△2.9	△0.1
鳥卵・卵黄	1,601,215	432,211	2.4	8
* 鳥卵・鳥卵調製品（ふ化用受精卵除く）	1,601,215	432,211	2.4	8

## 輸出動向調査－分析対象品目の設定イメージ：水産

出所：「農林水産省輸出入情報」

品目（加工品等除く）	数量	金額（千円）	前年同期数量比%	前年同期金額比%
水産物計	…	20,570,163	…	20.9
魚（生きているもの）	…	1,821,759	…	9.2
* たい（活）	257,000	215,860	105.6	208.6
たい（生・藏・凍）	167,811	131,029	27.9	55.3
水産物（生鮮・冷蔵・冷凍・塩蔵・乾燥）	22,396,888	11,651,183	2.1	37
* かつお・まぐろ類（生・藏・凍）	1,500,092	1,020,650	△56.6	△2.1
かつお類（生・藏・凍）	783,569	172,500	△67.7	△48.4
まぐろ類（生・藏・凍）	716,523	848,150	△30.4	19.9
* さば（生・藏・凍）	7,645,354	981,432	0.9	5.4
* さんま（冷凍）	15,410	5,939	△65.0	△60.3
* いわし（生・藏・凍）	3,267,519	379,392	56.3	88.2
* ひらめ・かれい（生・藏・凍）	50,105	9,463	30829	1469.3
* たら（生・藏・凍・すり身、すけそう除く	27,557	9,210	△26.4	△20.8
* すけそだら（生・藏・凍）	619,258	128,626	36.3	△21.1
* さけ・ます（生・藏・凍）	595,483	300,355	22.5	100.7
* ぶり（活・生・藏・凍）	3,346,525	3,228,575	…	…
* さめ（生・藏・凍）	178,333	22,601	105.9	252.9
* ふかひれ（生・藏・凍・塩・乾）	24,930	66,915	△46.7	△1.1
* えび（冷凍）	5,163	14,635	△65.0	△34.0
* かに（冷凍）	260,208	337,084	166.2	189.3
* いか（活・生・藏・凍）	137,253	117,707	1.1	21
* たこ（活・生・藏・凍・塩・乾）	2,448	6,185	△59.3	△41.6
* ホタテ貝（生・藏・凍・塩・乾・くん）	2,705,281	3,358,280	31.3	83.2
* ほや（活・生・藏）	278,478	72,868	△16.3	△8.8
* 乾こんぶ	59,724	112,466	80.6	58.4
水産物調製品	1,967,501	5,333,948	△4.3	△1.8

## 輸出動向調査－分析対象品目の設定イメージ：果物

品目（加工品等除く）	数量	金額（千円）	前年同期数量比%	前年同期金額比%
農産品	…	46,886,018	…	△5.8
穀物・穀粉調製品	…	3,408,688	…	△7.4
穀物	1,942	465,515	3.9	△2.0
* 米	1,942	465,304	3.9	△2.0
* 米（援助米を除く）	1,942	465,304	3.9	△2.0
穀粉調製品	4,900,792	2,252,749	△14.2	△9.1
果実・その調製品	5,503,998	4,218,144	△54.5	△31.5
果実（生鮮・乾燥）	4,418,498	3,500,534	△59.1	△35.8
* うんしゅうみかん等	279,166	196,535	△8.6	16.5
* ぶどう（生鮮）	21,353	72,704	△50.9	△37.6
* メロン	34,991	56,226	18	52.2
* りんご	3,446,050	1,660,650	△64.8	△58.2
* なし	38,405	26,369	41.4	28.1
* いちご	457,738	1,233,317	8.8	33.4
* 柿	15,467	18,537	△76.9	△54.0
* 果汁	588,685	273,912	△20.9	△1.2
その他の果実調製品	13,288	21,717	146.2	269.9

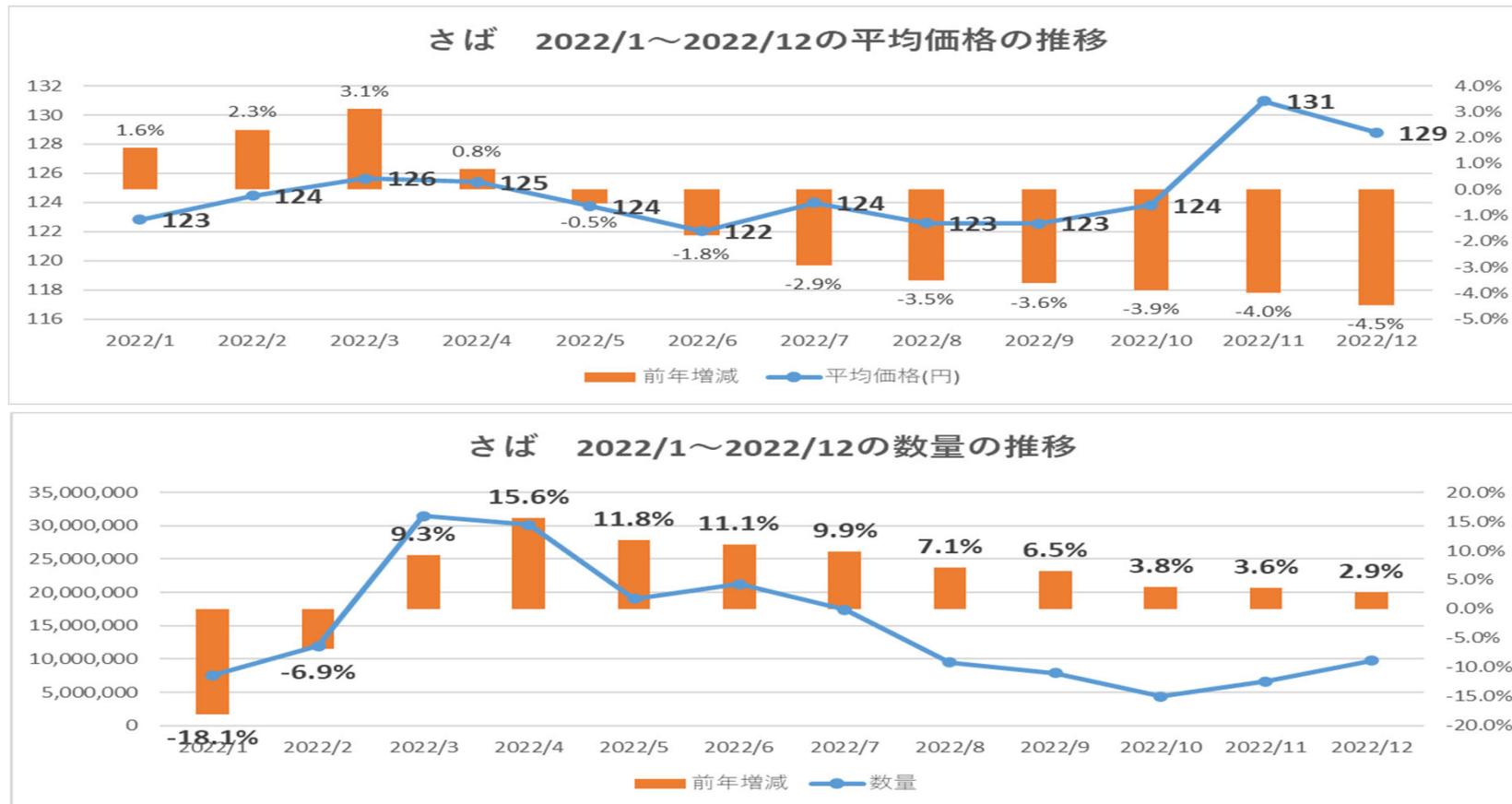
## 輸出動向調査－分析対象品目の設定イメージ：野菜

品目（加工品等除く）	数量	金額（千円）	前年同期数量比%	前年同期金額比%
野菜・その調製品	…	1,680,905	…	64
野菜（生鮮・冷蔵・乾燥）	…	1,250,883	…	80.4
野菜（生鮮・冷蔵）	401,543	898,652	△88.5	250.9
* キャベツ（芽キャベツ除く）等	153,012	25,735	△28.4	△34.9
* レタス	-	-	-	-
* だいこん・ごぼう等	105,893	25,336	△42.8	△31.6
乾燥野菜	1,140	5,163	60.8	43.9
乾燥豆（さやを除いたもの）	…	433	…	△91.4
かんしょ（生・藏・凍・乾）	433,215	180,489	△13.7	△11.1
* ながいも等	459,127	164,789	△28.4	△24.9
その他の野菜調製品	568,173	430,022	33.8	29.6
* 冷凍野菜	136,878	70,417	57.5	55.3
茶・マテ	487,528	1,612,071	△7.2	2.3
* 緑茶	405,746	1,461,288	△2.0	5.2
* きのこ類	114,462	81,855	△12.4	△22.3
* 生鮮・冷蔵きのこ（はらたけ属除く）	104,074	54,385	△15.4	△25.7
* しいたけ（乾燥）	3,204	19,792	△31.0	△31.9

# 輸出動向調査 – 実際の集計分析イメージ：さばの価格・数量分析例

**以下の動向を、前年及び前月比較、並びに国内荷動き、品目別動向、及び輸出先国別動向と比較することで異状を把握し、異状が生じた場合はその内容に応じて対応する。**

2021/1～2021/12 さば



	2022/1	2022/2	2022/3	2022/4	2022/5	2022/6	2022/7	2022/8	2022/9	2022/10	2022/11	2022/12
数量	7,580,786	11,950,927	31,438,241	30,108,027	19,036,135	21,202,060	17,351,559	9,463,700	7,866,534	4,367,496	6,609,856	9,753,465
前年増減	-18.1%	-6.9%	9.3%	15.6%	11.8%	11.1%	9.9%	7.1%	6.5%	3.8%	3.6%	2.9%

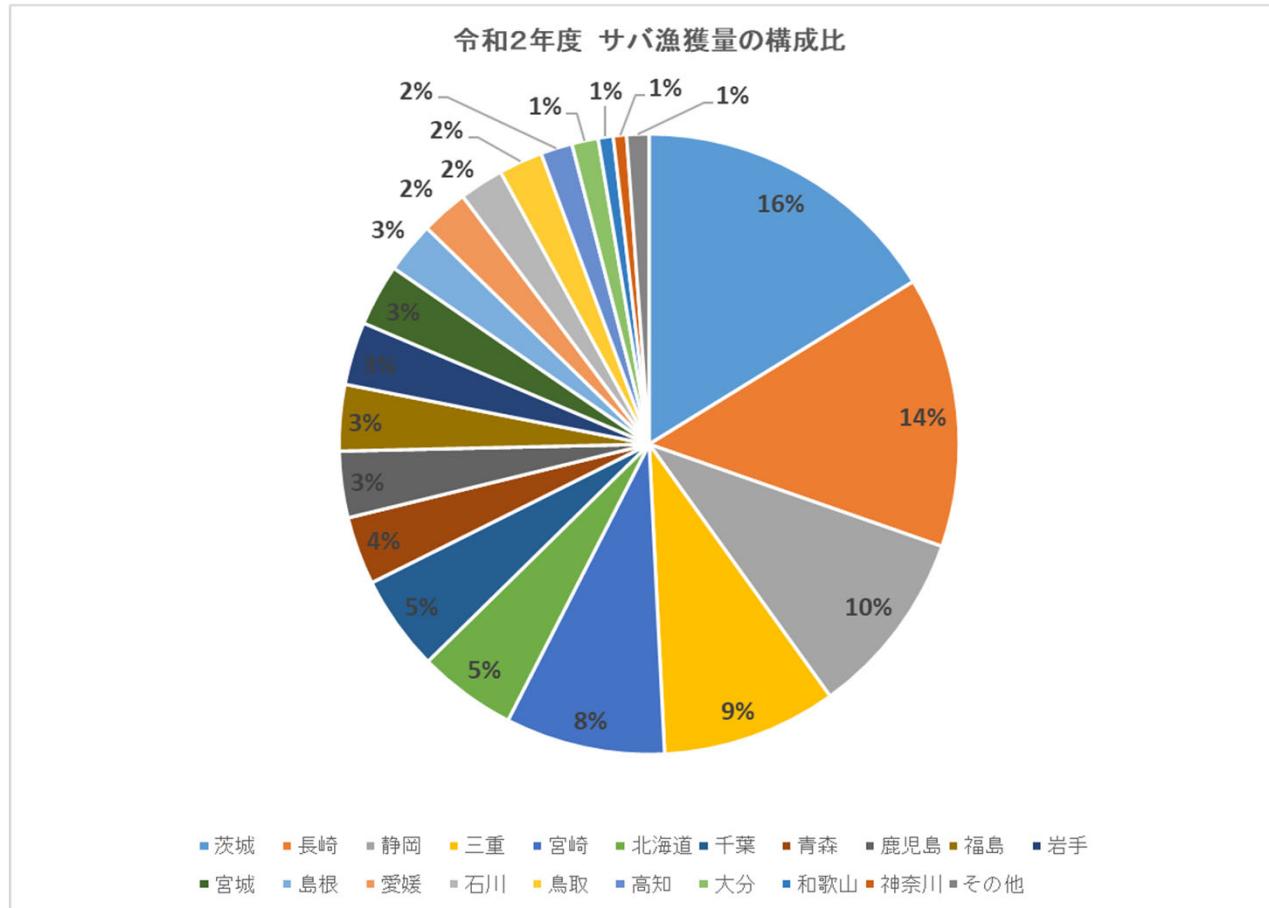
	2022/1	2022/2	2022/3	2022/4	2022/5	2022/6	2022/7	2022/8	2022/9	2022/10	2022/11	2022/12
金額(千円)	931,006	1487356	3,950,098	3775435	2355742	2587203	2151118	1160098	964108	540733	865635	1256180
前年増減	-19.4%	-9.0%	6.0%	14.7%	12.4%	13.1%	13.2%	11.0%	10.5%	8.0%	7.9%	7.7%

	2022/1	2022/2	2022/3	2022/4	2022/5	2022/6	2022/7	2022/8	2022/9	2022/10	2022/11	2022/12
平均価格(円)	123	124	126	125	124	122	124	123	123	124	131	129
前年増減	1.6%	2.3%	3.1%	0.8%	-0.5%	-1.8%	-2.9%	-3.5%	-3.6%	-3.9%	-4.0%	-4.5%

以下のように各品目の主要産地を整理しておく。貿易統計で異状の可能性が確認されたら、特定済の主要産地の事業者・関係者ヒアリング等により速やかに状況を把握する。

## 海面漁業生産統計調査 令和2年度 「さば」

都道府県	漁獲量	構成比
茨城	63,223	16%
長崎	55,033	14%
静岡	37,977	10%
三重	35,547	9%
宮崎	32,438	8%
北海道	19,973	5%
千葉	19,423	5%
青森	13,834	4%
鹿児島	13,477	3%
福島	13,456	3%
岩手	12,804	3%
宮城	12,555	3%
島根	10,407	3%
愛媛	9,583	2%
石川	9,002	2%
鳥取	8,932	2%
高知	6,435	2%
大分	5,383	1%
和歌山	3,049	1%
神奈川	2,673	1%
山口	959	0%
富山	759	0%
福岡	722	0%
新潟	325	0%
京都	305	0%
秋田	296	0%
熊本	284	0%
愛知	219	0%
兵庫	218	0%
福井	135	0%
香川	98	0%
徳島	79	0%
大阪	72	0%
佐賀	29	0%
広島	26	0%
山形	21	0%
東京	2	0%
岡山	2	0%



## **VII メディア・SNS調査の実施計画**

### リアルタイム性のある定性的情報として、SNS情報を以下の内容で収集する。

- 監視内容：ALPS処理水の海洋放出に伴う以下産業・地域に悪影響を与える情報  
産業：漁業、畜産業、食品製造業、食品卸売業、食品小売業、食品輸出に関わる事業者・外食産業・観光業  
地域：全国 ※特に福島、北海道、青森、岩手、宮城、茨城、千葉
- 取得メディア：Twitter、5ちゃんねる、各種blog、BBS(掲示板)、ニュースサイト、Weibo
- 対象キーワード（案）：ALPS処理水、汚染水、海洋放出、福島原発処理水、環境放出など
  - ※検知精度を高めるため、抽出キーワード・除外キーワードを掛け合わせて実施
  - ※監視キーワードは別途協議し実施
- モニタリング方法：有人目視にてデイリーモニタリング
- 監視頻度：4時間毎
- 判定区分：ポジティブ・ネガティブ・ニュートラルの3区分
- 目視上限記事件数：5,000件/月

上記により得られた情報から隔週レポートを提出するほか、投稿数が設定した閾値を超えた場合に、緊急アラートで通知する。

## メディア・SNS調査 メインキーワード等の設定について

以下のようなメインキーワードでSNS内をロボット検索し、投稿情報をモニターすることを提案する。また、収集される情報の有効性を高めるため、あわせて、対象外とすべき除外キーワードを以下のように設定する。

Nº	取得記事メインキーワード
1	ALPS処理水
2	汚染水
3	海洋放出
4	福島原発処理水
5	環境放出

Nº	除外キーワード
1	アルプス
2	南アルプス
3	アルプスアルパイン
4	スーパー・アルプス
5	アルプス山脈
6	アルプスワイン
7	アルプスオート
8	アルプスシャツ
9	アルプスカーフ
10	アルプス食品工業
11	アルプスカード
12	アルプスPPS
13	アルプスピクチャーズ
14	アルプススチール
15	スパ・アルプス
16	ホテルアルプス
17	アルプス物流

# メディア・SNS調査 抽出キーワードの設定について

地域、生産物、業種等の切り口で抽出キーワードを設定する。メインキーワードが採集した投稿のなかから、下記の抽出キーワードと組み合わせてヒットする投稿を割り出し、その中から重要性を有人判定し、把握すべき投稿とその量を割り出すこととする。

Nº	抽出キーワード
<u>&lt;地域&gt;</u>	
1	福島
2	北海道
3	青森
4	岩手
5	宮城
6	茨城
7	千葉
8	東日本
9	西日本

Nº	抽出キーワード
<u>&lt;生産&gt;</u>	
10	農業
11	漁業
12	畜産
13	農作物
14	魚介類
15	栽培
16	飼育
17	農産物
18	茶
19	きのこ
20	山菜
21	水産物
22	野菜
23	果実
24	フルーツ
25	カツオ
26	マグロ
27	サケ
28	鮭
29	サンマ
30	コウナゴ
31	イカナゴ
32	カレイ
33	メバル
34	貝

35	イカ
36	タコ
37	エビ
38	カニ
39	ワカメ
40	カキ
41	アワビ
42	サザエ
43	バイ貝
44	牡蠣
45	園芸
46	トマト
47	柿
48	イチゴ
49	かんしょ
50	さつまいも
51	いも
52	じゃがいも
53	にんじん
54	きゅうり
55	ナス
56	キウイ
57	バナナ
58	アボカド
59	レタス
60	キャベツ

61	セロリ
62	大根
63	サラダ
63	ブドウ
64	みかん
65	オレンジ
66	メロン
67	スイカ
68	パインアップル
69	ブロッコリー
70	春菊
71	小松菜
72	トウモロコシ
73	桃
74	リンゴ
75	ナシ
76	マンゴー
77	さくらんぼ
78	栗
79	ケール
80	ほうれん草
81	大葉
82	昆布
83	アセロラ
84	玉ねぎ

# メディア・SNS調査 抽出キーワードの設定について

No	抽出キーワード
<b>&lt;対応&gt;</b>	
110	放出
111	放水
112	海洋
113	処分
114	規制
115	国
116	対応
117	除去
118	流す
119	基本方針
120	仕組
121	IAEA
122	国際原子力機関
123	基準
124	復興
125	政府
126	水蒸気放出
127	経済産業省
128	東京電力
129	取り扱い
130	原発排水
131	工務庁
132	エネルギー庁
133	検査

No	抽出キーワード
<b>&lt;被害&gt;</b>	
134	風評
135	海
136	嘘
137	やばい
138	問題
139	廃炉
140	健康被害
141	人体
142	有害
143	被害
134	福島第一電子力発電所
135	福島第一原発
136	第一原発
137	損害
138	影響
139	場所
140	体内
141	打撃

No	抽出キーワード
<b>&lt;訴え&gt;</b>	
141	トリチウム
142	多核種
143	核種
144	放射性物質
145	トリウム以外
146	濃度
147	安全
148	住民
149	反対
150	署名
151	運動
152	活動
153	放射性炭素
154	死ぬ
155	危険
156	協同組合
157	飲める
158	飲む
159	飲んだ人
160	大丈夫
161	死亡
162	全漁連
163	住む
164	引っ越し
165	転居
166	賠償

No	抽出キーワード
<b>&lt;保障&gt;</b>	
166	対策
167	保障
168	補助
169	支援

## **VII 観光動向調査の実施計画**

## 観光動向調査

観光分析は「観光情報プラットフォーム推進協議会」が提供する「観光情報プラットフォーム」を活用して行うことを提案する。

### 実施概要・利用統計

- ・観光情報プラットフォームは日本政府の環境ビジョン実現に向けて、構築された観光データプラットフォームである。公益社団法人日本観光振興協会が事務局を務め、JTBや日本旅行など主要な旅行会社が参画することによって運営されている。
- ・データは2週間ごとに更新され、速報性も有する。宿泊数を市町村単位で把握することができ、既存の観光統計と比べて粒度に優れる。処理水の影響把握体系全体の中でも、特に速報性とその地域要因把握において重要な役割を担うことが期待される。

### 分析対象データ

- ・月/週/日別、市町村別の宿泊客データ

### 分析方法・視点

- ・対前年比較
- ・対前月比較
- ・対他地域比較

※観光情報プラットフォームは、実績データと予測変数を使い、6ヶ月先までの宿泊客予測を行う。予測データと実際の宿泊客の差分からも、異状の有無を確認することができる所以、適宜活用する。

### 実施のポイント

- ・データの変曲点の捉え方や、どの程度の変化を持って異常と判断すべきかについては、観光関係者ならびに現地の事業者等との意見交換を通じて、適切な目安や見方を設定した上で、集計・分析を進めることとする。
- ・異状の可能性が感知された際は、当該地域の関係団体や事業者と連携して、情報収集、状況把握、対応協議等を速やかに行うこととする。

## 観光動向調査－分析イメージ

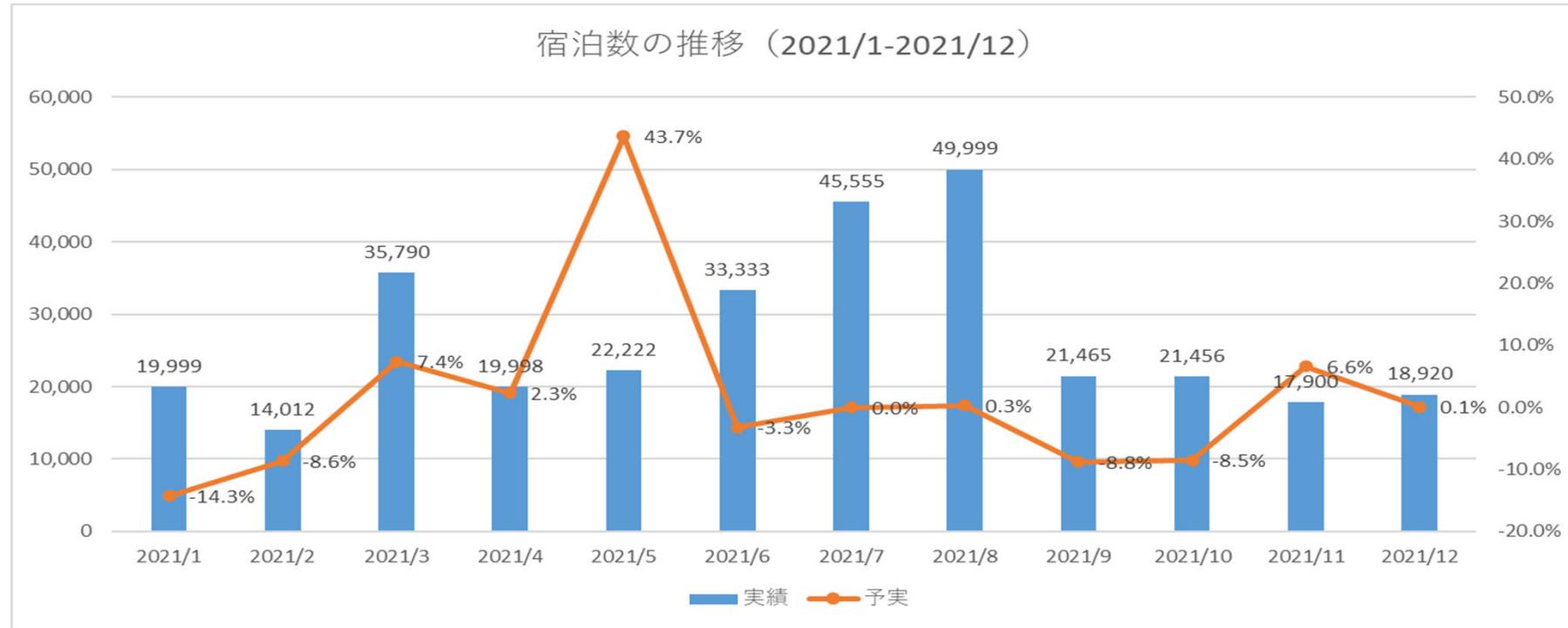
指定した地点における宿泊予約、宿泊予測、前年実績、当年実績を一元的に把握することができる。



※宿泊者数の予測に必要なデータを十分に取得できなかった場合、「0」と表示されますのでご了承ください。

## 観光動向調査－分析イメージ

**宿泊予測値や前年実績と当年宿泊数の状況を時系列の視点も入れながら分析することによって、観光に及ぼす影響の状況を精緻に分析することができる。**



地域	項目	2021/1	2021/2	2021/3	2021/4	2021/5	2021/6	2021/7	2021/8	2021/9	2021/10	2021/11	2021/12
A	予測	23,330	15,333	33,333	21,000	15,465	34,455	45,567	49,862	23,532	23,456	16,788	18,900
	実績	19,999	14,012	35,790	19,998	22,222	33,333	45,555	49,999	21,465	21,456	17,900	18,920
	予実	-14.3%	-8.6%	7.4%	2.3%	43.7%	-3.3%	0.0%	0.3%	-8.8%	-8.5%	6.6%	0.1%
	前年比	1.1%	3.0%	4.5%	-3.2%	23.0%	-1.2%	-2.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%
B	予測												
	実績												
	残差												
	前年比												

# 観光動向調査－分析イメージ

観光情報プラットフォームでは、外国人入出国統計(法務省)の国籍別、空港・港湾別、都道府県別、月別の入国・出国者数のデータも組み合わせて分析できる。政府統計も有効活用できることから、観光プラットフォームの活用は有効な手段と評価できる。

